

質疑回答書

令和8年5月13日

入札参加者 殿

瀬戸市長 川 本 雅 之

瀬戸特別支援学校リニューアル(建築)工事において、下記のとおり質疑がありましたので回答します。

番号	図面No.	質問事項	回答
1	S-9、13	B1F伏図では、F1 18箇所 F1a 2箇所と読み取れ、PHC杭F1 φ600-10m F1a φ600-10mと記載があり、設計書P-51では、PHC杭φ500 L-12m 4本 PHC杭φ600 L-12m 18本となっています。どのように理解したらよいか指示願います。	F1×18+F1a×2を正とします。 構造精査により杭の長さ・工法に訂正がありますので、別紙、構造図S-1,S-9～15を参照してください。
2	S-14、15	柱リストB1階-C1 □350×350×25 BCRと記載されていますが、製作可能範囲外です。t=22と理解して宜しいですか？	t22を正とします。 構造精査により、柱脚及び梁の変更(CB4,G1a)がありますので別紙、構造図S-1,S-9～15を参照してください。
3	AS-28、29	スロープ棟建具符号図・建具表と設計書P-71～P-74の記載内容にかなりの差異が生じています。建具表を正とすれば良いですか？	建具符号図・建具表を正としてください。 SD-1については、遮煙性能付としてください。
4	設計書 P-18	原山小学校仮校舎 設計書に躯体改修・建具改修の項目及び細目が記載されていません。どのように理解したらよいか指示願います。	工事内容は、A-173の建具改修、A-180～182のスロープ新設となります。
5	AS-14～31	スロープ棟で設計図に有り設計書に無い下記の項目の有無をご指示下さい。 ① 木製額縁(積層165*25又は630*25) ② ALC面発砲ウレタン吹付け t-40 ③ 天井グラスウール 24k t-100 ④ EVピットウレタン防水 ⑤ 点字ブロック(内部スロープ) ⑥ サッシ廻りシーリング(該当数量が無い) ⑦ 鉄骨耐火塗装 ⑧ パラペットアルミ笠木 ⑨ 外部吊り庇鉄骨フツ樹脂塗装	設計図を正としてください。
6	設計書	普通・特別教室棟 外壁改修工事にある車寄せ 屋根材ポリカボネードの施工場所等仕様詳細をご指示ください。	サイクルポートは既設のままとしてください。
7	共通	既設建物内の移動家具・備品等の移動、仮置き等の費用は詳細不明の為別途で宜しいでしょうか。	設計図書記載の移設・残置物処分については本工事に含まれます。記載のない項目は、別途協議によります。

8	共通	工事期間中の施設内の管理(施錠の開閉、セキュリティー等)はどのようにされるのかご指示ください。 (原山小も同様)	萩山校舎:工事期間中は施工業者のみの利用となるため、施工業者の責任において管理をお願いします。 原山校舎:機械警備が稼働しています。また、校舎2階にて放課後児童クラブが運用しているため、教育政策課及び子ども未来課と協議の上、管理方法を決定してください。
9	A-123	給食棟で設計図に有り設計書に無い下記の項目についてご指示ください。 ① 外壁ALC t-100 ② 階段ノンスリップ金物	設計図を正としてください。
10	AS-14	軒裏アルミスパンドレルt-0.5とありますが、設計書では、ケイカル+EPのようですがご指示ください。	設計図を正としてください。
11	A-19 A-20	外断熱工法の施工範囲は、1階部分のみと考えて宜しいでしょうか。(立面図・矩形図優先)	北側1階部分のみ外断熱、2・3階は内断熱としてください。
12	A-18	養護教室1~10が改修前図では改修範囲外ですが、改修後の図面では改修範囲になっていますのでご指示ください。	A-36・37・38のとおり、改修範囲としてください。
13	A-112	西トイレ改修で設計図に有り設計書に無い下記の項目について有無をご指示ください ① 汚垂れ石 ② 壁小口方立てアルミt-2.0曲げ物	設計図を正としてください。
14	設計書	西トイレ木製建具でWD-8の施工場所をご指示ください。	設計書(誤)、建具符号図・建具表(正)としてください。
15	A-114	西・東トイレアルミサッシカバー工法の額縁は既設塗替えて宜しいでしょうか。(各棟共通)	額縁撤去、新設としてください。
16		化粧ケイカル板の目地シールは必要でしょうか。 (設計書項目無し)	目地シール施工としてください。
17	設計書	給食棟新設AD-10の施工場所をご指示ください。	下処理室×1、食品庫×1、検収室×2 新設としてください。
18	A-120 A-19	給食棟の防水改修は、2F屋根は既設のまま配膳室RF陸屋根のみ防水改修で宜しいでしょうか。	A-120(誤)、A-123・124(正) 屋根防水改修としてください。
19	A-19	給食棟増築部分の屋根はルーフトレッキで宜しいですか(A-19にウレタン防水とありますが)	A-123図を正とします。
20	設計書	給食棟金属工事計上の、LGS間仕切り(1408m <sup>2</sup> )と、LGS天井(812m <sup>2</sup> )は何処の部分でしょうかご指示ください。	スロープ棟 金属工事数量誤記のため、給食棟改修に伴う工事数量としてください。

21	A-124	1階の調理室棟の天井は、A-124図では塗替えですが仕上表、天井伏せ等では撤去の上ケイカル+EP-Gですが何れでしょうか。	A-96 天井伏図を正としてください。
22	A-117 他	階段室1~3共通で矩形図ではA内側断熱の指示がありますが仕上表、設計書のEP-G塗替えで宜しいでしょうか。	No.11に同じです。
23	A-13 A-27	既設屋上の仕様ですが、R11(保護コンクリート押え)とありますが、A-27より露出アスファルト防水で宜しいですか。	既設は、アスファルト防水(保護コンクリート押え)となります。
24	A-99	ピクトサインの詳細図がありますが、設計図、設計書に記載有りませんで別途で宜しいですか。本工事ならば数量、形式をご指示ください。	改修する各室を想定しています。別途協議によります。
25	設計書	撤去工事の発生材運搬及び処分費にコンクリート殻類がありませんが何か理由があるのでしょうか。	発生した場合は、別途協議によります。
26	A-18 AS-24	1階スロープ棟EV前から管理棟来客玄関まで誘導ブロックがA-18図には有り、設計書にはありません。有無をご指示ください。	誘導ブロック不要です。
27	A-25 A-26	テラスの改修は、設計書のどの棟に含まれていますか、該当する内容が無いように思われますのでご指示ください。	校舎棟改修工事(管理教室棟)に含まれています。床・階段 ウレタン塗膜防水(X-1)(誤)、防滑ビニル床シート新設としてください。
28	A-19	テラスにフェンスと扉の表示がありますが設計書にも無く仕様も不明です。本工事ならば仕様をご指示ください。	監督員との協議によります。 スチール製メッシュフェンス H=1200 スチール製両開き扉 H=1200、W=2000 レバーハンドル(シリンダー錠)を想定しています。
29	A-145	器具庫木製棚が設計書にありませんが、別途で宜しいでしょうか。	本工事としてください。
30	設計書	スロープ棟の大屋根で、設計図では二重折版ですが、設計書の内容はシングル折版のようですが、設計書を正として宜しいでしょうか。	設計図を正としてください。
31	A-21	スロープ棟の屋根伏せが、AS図では片流れでA図及び設計書では切妻のようですが、AS図優先で宜しいですか。	宜しいです。
32	A-144	体育館棟の便所に折りたたみシートがありますが、東西トイレ棟の折りたたみベットの設計書に計上されていますが体育館棟の便所には計上されていませんが、別途で宜しいでしょうか。	本工事としてください。

33	A-129	給食棟の既設業務用厨房機器の仮撤去復旧及び新規業務用厨房は別途工事で宜しいでしょうか。	別途、機械設備工事とします。
34	AS-12 AS-13	外構図改修前・後の図面で校舎棟の既設正門廻り(階段、関知ブロック積、植栽帯等)の微妙に相違しますが基本既設のままで宜しいでしょうか。	南側既設正門廻りは、既設のままとしてください。
35	A-169	新設乗入の土留め壁は設計書では片面の数量かと思われませんが、設計図では両面あるように思いますが片側(西側)で宜しいのでしょうか。	新設乗入に伴い、土留め擁壁は東西両側を新設としてください。
36	AS-13	電柱移設は、中電工事とし別途で宜しいですか。	別途、電気設備工事となります。
37	AS-13	スロープ棟外構工事の排水工事の数量及び仕様はAS-13の詳細図記載の数量及び仕様で宜しいですか。	宜しいです。
38	AS-13	グリットフェンスで、設計図はH-1200となっていますが、設計書では西境界側がH-1800とありますが全てH-1200で宜しいですか。	H-1200を正としてください。
39	AS-13	外灯は基礎のみで建築工事で宜しいですか。	電気設備工事と重複のため、別途電気設備工事としてください。
40	A-178	原山小学校改修工事で、軽量鋼製建具が設計書に記載ありませんが別途で宜しいでしょうか。	本工事としてください。
41	A-180 A-181	原山小学校改修工事で、昇降口スロープ増設が設計書にありませんが、別途で宜しいですか。	本工事としてください。
42	AS-14	スロープ棟の天井ですが、仕上表には化粧PB+EP-Gとありますが、設計書にはありません。無しで宜しいですか。	仕上表を正としてください。
43	A-96	凡例P アルミパネルとありますが要領がつかめませんので詳細をご指示ください。	外部建具:換気扇取付け用のランマ部アルミパネルt5となります。
44	A-96	ピクチャーレールは設計書にありませんが別途で宜しいでしょうか。	別途協議によります。
45	AS-23 AS-24	スロープの2段手摺(凡例C)で、ステンレス製と樹脂製とあります。全てステンレスとしますが宜しいですか。	樹脂製手摺としてください。
46	AS-23	凡例Dのクッション材の詳細(メーカー、仕様等)をご指示ください。	車椅子利用における、衝突防止を目的としています。 仕様:厚60mm 表面:難燃合皮レザー ウレタン・ポリエチレン製として下さい。

47	A-138	体育館棟の既設瓦棒屋根面の、断熱補強超速硬化ウレタン塗膜防水工法のメーカー、工法等詳細をご指示ください。(設計協力業者連絡先)	以下同等品とします。 参考メーカー:シーカジャパン(株) 参考仕様:リ・ルーフシステム
48	確認	この質疑に伴う回答が略設計書に反映されているものと考えて宜しいでしょうか。もし反映されていない質疑があれば質疑回答に明記願います。	本回答書のとおりです。
49	A-171	仮設駐車場の砕石転圧部分は工事完了後そのまま残置で宜しいでしょうか。	宜しいです。
50	A-124	給食棟のルーフファンは既設のままと理解して宜しいですか。	宜しいです。
51	A-99	原山小学校のレール及び戸車取替は、A-99の出入り口レール詳細図に倣うのですかご指示ください。	原山小学校 各使用教室の出入口レールも、同様改修としてください。
52	A-110	既存校舎のベース下端の校舎GLよりの高さをご指示ください。(山留検討の為)	校舎GL-1500程度となります。
53	A-84	廊下手洗いに昇降式手洗いとありますが、設備工事で宜しいですか。建築工事ならばメーカー品番、電動手動の有無をご指示ください。	別途、機械設備工事としてください。
54	A-173	原山小学校の廊下手洗いも昇降式でしょうか。	昇降式ではありません。別途、機械設備工事としてください。
55	AS-14	スロープ棟大屋根、下屋根、吊り庇の屋根材は、全てカラーガルバリウム鋼板で宜しいでしょうか。	SGL鋼板としてください。
56	AS-14	仕上表の大庇(吊り折版)にガルバリウム鋼板t-0.87ツリ樹脂塗装とあるのは、鉄部をツリ樹脂塗装で屋根材はカラーガルバリウム鋼板と解釈して宜しいでしょうか。	SGL鋼板としてください。
57	S9-13 設計書 51	[構造] 構造図では、杭:セメントミルク工法 600φ L10m 20本ですが、設計書はHiFB II 工法 500φ L12m 4本 600φ L12m 18本と相違があります。設計書を正として宜しいでしょうか。	No1に同じです。
58	S9 AS18~22	基礎伏図に土間コンクリート天端高さの明記がありません。AS18~22の高さに倣えばよろしいでしょうか。基礎伏図に土間コンクリート天端高さをご指示ください。	AS図面を正としてください。

59	AS全般図 A18~20	スロープ棟~教室棟への渡り廊下幅が、AS図面とA18~20とで相違があります。AS図面が優先と考えてエキスパンジョイントは既設柱~柱までとし、各階スラブRC新設と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
60	A112 A132 設計書 155・172	西・東トイレ改修のスラブ躯体内容が、図面はPS部分のみ改修。設計書のコンクリート・型枠・鉄筋数量が全スラブ打ち替え数量となっています。図面:PS部分のみ改修と考えてよろしいでしょうか。	トイレレイアウト変更に伴いPS、和便器等は、床スラブ開口閉鎖としてください。
61	A112 A132 設計書 155・172	上記の場合、現状和便器撤去後のスラブ穴埋め改修工事が発生します。あと施工アンカー・鉄筋・コンクリート・型枠工事を計上してよろしいでしょうか。	No60及び設計書のとおりです。
62		① インフレスライド条項の適用について 本工事は、令和8年3月9日公表の「賃金等の変動に対するインフレスライド条項の適用等について お知らせ」の記載の通り適用事業でよろしいでしょうか。	ご質問の公表資料は、他自治体のものでしょうか。インフレスライドについては、別途協議によります。
63		② 週休2日工事について 本工事は「瀬戸内市週休2日工事実施要項」の記載の通り適用事業でよろしいでしょうか。 ご教授ください	ご質問の公表資料は、他自治体のものでしょうか。本工事は通常工事としています。
64	A-56.58	廊下手洗い流し(昇降式)スペック及び個所数を指示願います。 設計書P-104.132では、ステンレスL3700×D600×H700各2箇所となっています。	別途、機械設備工事としてください。
65	A-130.131	給食棟厨房機器リスト及びレイアウト図が記載されていますが、設計書に未計上ですので、別途と理解して宜しいですか？	別途、機械設備工事としてください。
66	(スロープ棟) S-9,10	デッキスラブはEZ50・t1.6、山上コンクリートはt=80(Fc21)、配筋はD10@200シングル程度と考えてよろしいでしょうか。	EZ50 t1.2 山上コンクリートt80(Fc18)配筋φ6@150メッシュ筋とします。
67	(スロープ棟) S-9	地中小梁FB2のリストはFB1と同様と考えてよろしいでしょうか。	別紙、構造図S-13 基礎梁リストに追記しました。
68	(スロープ棟) S-9,13 設計書	PHC杭の仕様は基礎リストの杭長10.0m・セメントミルク工法とし、全てφ600・20本が正と考えてよろしいでしょうか。	No.11に同じです。

69	(スロープ棟) S-11,12,15	A通1-3間・1FLから上部の鉄骨柱が1階伏図ではC1となっていますが、軸組図のC2が正と考えてよろしいでしょうか。	C2を正としてください。
70	(スロープ棟) S-9	鉄骨小梁・b34のリストは、H-340×250×9×14と考えてよろしいでしょうか。	b34はH-346x174x6x9とします。
71	(スロープ棟) AS-23 A-102	車椅子置場・下足入(K-1)のW寸法は、家具詳細図のW=4500が正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
72	(スロープ棟) AS-23,29	LSD-1の両袖部分はガラスFIX(FLt=5)と考えてよろしいでしょうか。	強化ガラスt5+飛散防止フィルム張り(衝突防止に配慮した仕様)としてください。
73	(スロープ棟) AS-18,30	展開図の「アクリルスクリーン・手摺付」の様子は、AS-18図の手摺詳細と同様(スクリーンはホリカーホネイトt6.5、H寸法はH=1100)と考えてよろしいでしょうか。	設計図AS-18のとおりです。
74	(スロープ棟) AS-14,27	屋根の様子が、設計図では山高168の二重折板葺きですが、設計書では山高90のシングル折板葺きと相違しています。設計図の山高168二重折板葺きを正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
75	(スロープ棟) AS-14	上記質疑を正とした場合、二重折板葺きの場合、折板の様子は認定番号より三晃金属「丸馳折板Ⅱ型」同等品とし、下弦材はガルバリウム鋼板t0.6素地、上弦材はカラーガルバリウム鋼板t0.8と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
76	(スロープ棟) AS-15,17	渡り廊下屋根の水上側が屋根伏図ではパラペットがありますが、断面図ではパラペットがありません。断面図のパラペット無しを正と考えて宜しいでしょうか。	パラペット有りとしてください。
77	(スロープ棟) AS-15,16	渡り廊下屋根からの縦樋が平面図や立面図に記載されていませんが、両端の2ヶ所分と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
78	(スロープ棟) AS-14,21	大庇が外部仕上表ではガルバリウム鋼板フッ素樹脂塗装ですが、断面詳細図ではカラーSGL鋼板と相違しています。カラーSGL鋼板を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
79	(スロープ棟) AS-21	大庇谷樋の谷コイルはt0.4と考えて宜しいでしょうか。	t0.6としてください。
80	(スロープ棟) AS-14	軒裏がアルミスパンドレルとなっていますが、ヨトスパン1F型の場合アルミは無く、カラーガルバリウム鋼板となります。カラーガルバリウム鋼板t0.5として宜しいでしょうか。	AS-22を正としてください。
81	(スロープ棟) AS-16,23	渡り廊下下部(B1階部分)の鉄骨柱(2か所)は、耐火被覆の上、ALC版t=50+複層塗材Eと考えてよろしいでしょうか。	耐火被覆なし、ALCt100、複層塗材Eとしてください。

82	(スロープ棟) AS-14, 22,24	スロープ間の柱(B'通の5本)は、仕上表・平面詳細図では石膏ボード+EP-G仕上ですが、断面詳細図では鉄骨あらわし+耐火塗料仕上となっております。仕上表・平面詳細図を正とし、鉄骨柱の耐火被覆は吹付ロックウールt25と考えてよろしいでしょうか。	AS-22を正としてください。 鉄骨柱・梁見え掛りは耐火塗料仕上としてください。
83	(スロープ棟) AS-18,22	スロープ受けの鉄骨梁は、スロープ上裏に天井仕上があることから、倉庫2を除いて全て見隠れと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
84	(スロープ棟) AS-18,22	倉庫2で、表しとなる鉄骨梁面の耐火被覆は、AS-22図のセメント系耐火被覆t=20が正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
85	(スロープ棟) AS-22,23	倉庫2の外壁面は、断面詳細図では断熱材表しですが、平面詳細図ではLGS下地と壁仕上があるように見られます。平面詳細を正とし、LGS+石膏ボード+EP-G仕上を見込むものと考えてよろしいでしょうか。	LGS65下地、石膏ボードt12.5 EP-Gとしてください。 別紙、図面AS-22に追記・変更しましたのでご参照ください
86	(スロープ棟) AS-14,22	仕上表では天井仕上が化粧PB+EP-Gですが、断面詳細図ではEP-Gは図示されていません。化粧PB面のEP-G塗装は不要と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
87	(スロープ棟) AS-22,23	B1階車椅子置場・風除室の壁付手摺が平面詳細図の凡例ではステンス製となっておりますが、上階・スロープ手摺と同様、半硬質樹脂製φ34(2段・ブラケット用樹脂カバー付)が正と考えてよろしいでしょうか。	No.45に同じです。
88	(スロープ棟) AS-23,31	平面詳細・凡例Dのクッションマットについて、仕様・程度をご指示ください。	No.46に同じです。
89	(スロープ棟) AS-18	2通りから東側でSGL-300の範囲は、床:コンクリート金鍍押え・壁:打放し補修素地仕上程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
90	(スロープ棟) AS-24 A-18	視覚障害者用300角タイルの範囲がスロープ棟平面図と校舎棟平面図とで異なります。スロープ棟側はスロープ棟平面図を正と考えてよろしいでしょうか。視覚障害者用300角タイルの仕様・程度も併せてご指示ください。	No.26に同じです。
91	(スロープ棟)	天井点検口が必要であれば、仕様・サイズおよび見込み数量をご指示ください。	監督員と協議によります。

92	(校舎棟) A-13,22	縦樋の掴み金具が外部仕上表では@1200ですが、立面図の凡例では@1000と相違しています。外部仕上表の@1200を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
93	(校舎棟) A-20	3階Y1通りX8-X10間のR15屋根の軒樋は現状のままとし、縦樋はカーVP100φをX8-X10通り側の計2ヶ所新設するものと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
94	(校舎棟) A-19・ A-116,117	2階X8通りY3-Y4間のR15屋根の谷樋は現状のままとし、縦樋はカーVP100φをY4通り側に1ヶ所新設するものと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
95	(校舎棟) A-19,112	2階X10通りY4-Y5間のR15屋根の谷樋は現状のままとし、縦樋はカーVP100φをY5通り側に1ヶ所新設するものと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
96	(校舎棟) A-19・ A-120,123	2階X16通りY4-Y5間のR15屋根の谷樋は現状のままとし、縦樋はカーVP100φをY6通り側に1ヶ所新設するものと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
97	(校舎棟) A-19・ A-120,123	2階X15通りY4-Y5間のR15屋根の軒樋は現状のままとし、縦樋はカーVP100φを両端の2ヶ所新設するものと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
98	(校舎棟) A-22,27	立面図に打継目地シーリング打替とありますが、外壁の各SLで梁型・柱型の無い範囲(校舎外壁南面の柱間等)は全て打継目地があるものと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
99	(校舎棟) A-18～20 A-22～24	外断熱の範囲が平面図と立面図とで異なっています。立面図を正と考えてよろしいでしょうか。	No.111に同じです。
100	(校舎棟) A-25	テラス2階部分に新設するフェンスの仕様程度をご指示ください。	No.28に同じです。
101	(校舎棟) A-29,95	職員室1・2に新設されるパーテーションSP-6のW寸法が、建具表ではW=11750ですが、平面詳細図ではW=14300程度あります。平面詳細図の寸法を正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。

102	(校舎棟) A-27,82	1階廊下・北面の壁仕上(RC下地)は、展開図では硬質ウレタンフォームの上石膏ボード+EP-Gとなっていますが、1階は外断熱のため、既設面EP-G塗替と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
103	(校舎棟) A-16,82	新設する車摺巾木H=300は樹脂製と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
104	(校舎棟) A-85,88 A-33	来客・職員玄関の出入口扉・AD-4A(2ヶ所)は、建具表では引分けの框扉ですが、展開図では1ヶ所両開き、もう1ヶ所は引分け自動扉となっています。いずれも引分けの自動扉と考えてよろしいでしょうか。	建具表を正としてください。
105	(校舎棟) A-96	アルミパネル(タテ200φ～250φ×1本貫通)について、詳細・納まりをご指示ください。	外部建具:換気扇取付け用のランマ部アルミパネルt5となります。
106	(校舎棟)	設計数量書ではセルフベリングが計上されていますが、図面内では該当範囲が見当たりませんでした。必要であれば、具体的な適用範囲をご指示ください。	床施工箇所を想定しています。現況確認の上、施工範囲は監督員と協議の上決定してください。
107	(校舎棟) A-52,83	2階女子・男子便所～廊下間、更衣室～廊下間の間仕切および建具は、平面詳細図を正とし、既設のままと考えてよろしいでしょうか。	撤去、新設としてください。
108	(校舎棟) A-27,97	天井伏図では各教室の廊下間仕切側にカーテンボックスの指示がされていますが、矩計図にはボックスは無くカーテンレールが天井直付けとなっています。矩計図を正とし、カーテンボックスは不要と考えてよろしいでしょうか。	別途協議によります。
109	(校舎棟) A-99	外部室名札の仮撤去・再取付について、具体的な範囲、または見込み数量をご指示ください。	外部室名札はありません。
110	(校舎棟)	内部で新設する室名札等あれば、仕様・寸法、及び見込み数量をご指示ください。	No.24に同じです。
111	(校舎棟) A-96	新設する天井点検口はアルミ枠・目地タイプと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
112	(校舎棟)	新設する掲示板・ホワイトボードそれぞれの仕様・程度をご指示ください。	映写兼用ホワイトボード(低反射・ホーロー製)同等品としてください。
113	(校舎棟) A-81	3F音楽室の新設スクリーンボックスは、アルミ製既製品・200x200程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。

114	(校舎棟) A-100~ 109	家具符号図と家具詳細図とで、いくつか数量の違いが見られます。全て家具符号図を正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
115	(校舎棟) A-29,50 A-105	職員室1・2のミニキッチンについて、参考メーカー・品番等ご指示ください。	別紙、コンパクトキッチン(参考図)をご参照ください。
116	(校舎棟) A-18	1階廊下の手洗いは撤去・新設と考えてよろしいでしょうか。その場合、新設する手洗いはX12-13間・X22-23間共、昇降式と考えてよろしいでしょうか。	別途、機械設備工事としてください。
117	(校舎棟) A-84	廊下に新設する昇降式手洗いについて、仕様・程度をご指示ください。	別途、機械設備工事としてください。
118	(校舎棟) A-84	廊下に新設するSUS手洗いについて、仕様・程度をご指示ください。	No.64に同じです。
119	(校舎棟) A-31	来客玄関の新設受付カウンターは、積層材t35・CL仕上と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。 仕様:W1600×D800 厚35 CL仕上
120	(校舎棟) 設計書 P.110,138	環境配慮の対象となる既設仕上材を具体的にご指示ください。	アスベスト含有ボード等(レベル3相当)になります。
121	(校舎棟) 設計書 P.86	車寄せ(屋根材ポリカーボネート板)が1か所計上されていますが、該当する箇所が図面内に見当たりませんでした。具体的な施工場所、寸法等詳細をご指示ください。	No.6に同じです。
122	(西・東トイレ棟) A-20,24, 114,134	平面図ではトイレ棟の2・3階外壁が外断熱ですが、立面図では塗替、展開図等でも内断熱となっており異なります。立面図・展開図を正と考えてよろしいでしょうか。	No.11に同じです。
123	(西・東トイレ棟) A-18,95	1階トイレは、天井のみ全面撤去・新設するものと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
124	(西・東トイレ棟) A-86,112	平面詳細図では西トイレの前室・通路部分に片開き扉が見られますが、建具符号図にはありません。不要と考えてよろしいでしょうか。必要であれば建具リストをご指示ください。	宜しいです。
125	(西・東トイレ棟) A-99	ビオサインの数量は、西・東トイレ棟それぞれに持ち出し型:2か所、平付け型:4か所ずつと考えてよろしいでしょうか。	No.24に同じです。
126	(西・東トイレ棟) A-112,132	洗濯室に室名札が必要であれば、仕様・サイズをご指示ください。	No.24に同じです。

127	(西・東トイレ棟) A-114	手洗い前の鏡は既存再利用と考えてよろしいでしょうか。	化粧鏡は、別途、機械設備工事としてください。
128	(給食棟) A-19,123	2階X22通りY4-Y5間新設屋根の仕様 が、平面図ではウレタン系塗膜防水です が、矩計図では折板と相違しています。 折板を正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
129	(給食棟) A-123・ 設計書P182	上記質疑と関連しますが、折板の場 合、板厚が設計図ではt0.6ですが、設 計書ではt0.8と相違しています。設計 図を正とし、カラーガルバリウム鋼板t0.6と考 えてよろしいでしょうか。	No.19に同じです。
130	(給食棟) A-119・A-120・A- 123・設計書P182	2階X22通りY4-Y5間新設屋根の樋が、 設計図では軒樋:W130、竖樋:75φ、落 とし口:1ヶ所ですが、設計書では軒 樋:150×150、竖樋:100φ、落とし口:2ヶ 所と相違しています。全て設計図を正 と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
131	(給食棟) A-120,124	調理室屋根・X18~21-1間は、屋根伏 図では「既設のまま」ですが、矩計図で はウレタン塗膜防水新設となり異 なっています。矩計図を正とし、既設 防水面下地調整の上、ウレタン塗膜防水 を新設するものと考えてよろしいでし ょうか。	A124を正としてください。
132	(給食棟) A-120	調理室屋根・X16~18間(保護コンクリ ート範囲)は、屋根伏図通り「既設のまま」 と考えてよろしいでしょうか。	塗膜防水(X-1)としてください。
133	(給食棟) A-123	西側出入口・既設折板屋根からの竖 樋は、既設のままと考えてよろしいで しょうか。	宜しいです。
134	(給食棟) A-123	増築部の外壁・屋根裏面に断熱材吹 付(硬質ウレタンフォームt=40)が必要と考 えてよろしいでしょうか。	No.11に同じです。
135	(給食棟) S-16	新設FG・FSと既設躯体との取合い部 分に主筋と同径・同ピッチのアンカーが必 要と考えてよろしいでしょうか。	土間コンクリート部分だけ必要としてください。
136	(給食棟) A-123 S-16	X21-2通・鉄骨梁(G1)にのみロックウ ール吹付t=25が図示されていますが、鉄骨 柱・鉄骨梁全てに耐火被覆が必要と考 えてよろしいでしょうか。	宜しいです。耐火建築物となります。

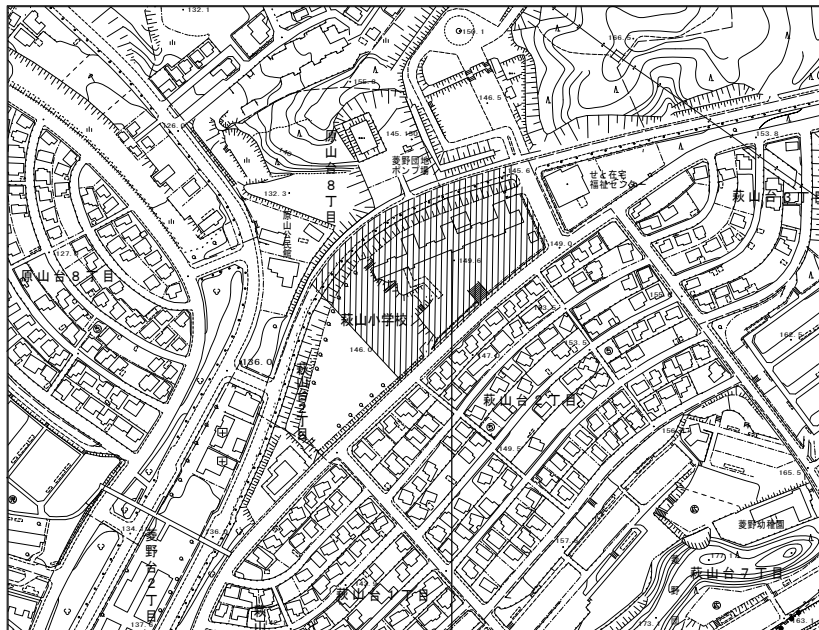
137	(給食棟) A-129,131	調理室の土間コン撤去・復旧で、既設排水溝の一部付け替えも必要になると思われます。その際、新設する排水溝は現場打ちとし、以下のように考えてよろしいでしょうか。 1) 溝の内法寸法はW250×H200 2) 溝内の仕上は防水モルタル 3) 溝蓋は既設再利用	別途協議によります。
138	(給食棟) 設計書 P.189	既設のEXP・Jが設計図では既設のまま・塗替ですが、設計書では撤去・新設になっています。設計図通り、既設面・下地処理の上DP塗装と考えるとよろしいでしょうか。	既設EXP・J撤去、新設としてください。
139	(給食棟) A-94	増築部・新設サッシの額縁は、木製・EP-G塗装と考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。
140	(給食棟) A-85,94	AD-11は建具平面図では撤去になっていませんが、設計書通り、障子のみ撤去しかパー工法で新設するものと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
141	(給食棟) A-94	新設木製建具の三方枠は、木製・EP-G塗装と考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。
142	(給食棟) A-131	調理室内土間の撤去・復旧で手洗い器に干渉する部分は、配管バック壁仕上・面台も撤去・復旧するものと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
143	(給食棟) 設計書 P.202	環境配慮の科目内で天井吹付撤去が計上されていますが、2・3階配膳室天井の既設吹付仕上が該当するものと考えてよろしいでしょうか。	アスベスト含有ボード等(レベル3相当)の誤りです。
144	(給食棟)	室名札等必要であれば、仕様・サイズ、及び見込み数量をご指示ください。	No.24に同じです。
145	(エレベーター棟) A-21	パラペット立上り高さはH=300程度とし、立上り部分のみ撤去・復旧を見込むものと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
146	(エレベーター棟) A-21	既設のパラペット笠木はアルミ笠木とし、既存のままと考えてよろしいでしょうか。	既設モルタル笠木、高圧洗浄の上、塗膜防水(X-2)としてください。
147	(エレベーター棟) A-21	ルーフトレインの改修を1ヶ所見込むものとし、縦樋の取替(カラー塩ビφ100)も必要と考えてよろしいでしょうか。	ルーフトレイン、縦樋は、全て改修としてください。

148	(エレベーター棟) A-23	既設外壁はALCとし、可とう形改修塗材Eを新設するものと考えてよろしいでしょうか。	校舎棟は、外壁コンクリート、可とう形改修塗材とし、スロープ棟はALC、複層塗材Eとしてください。
149	(エレベーター棟)	エレベーター本体の改修内容がわかる設計図書が見受けられません。仕様内容をご指示願えないでしょうか。	別紙、図面エレベーター棟改修工事を参照してください。
150	(体育館棟) A-147	既設側溝面のコンクリートパネル12敷新設について、具体的な範囲、または見込み数量をご指示ください。	A-139 改修後 1階平面図 テラススロープ幅=2,250となります。
151	(体育館棟) A-144	新設する「折りたたみシート」は別途工事でしょうか。本工事とする場合は仕様・程度をご指示ください。	No.32に同じです。
152	(体育館棟) A-187	空調機の防球ガードについて仕様等、詳細をご指示ください。	別途、機械設備工事としてください。
153	(体育館棟) A-139	改修前平面図で、屋内運動場のステージ側床に記号Hが図示されていますが、フローリングのみやり替えと読み替えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
154	(体育館棟) A-139	便所の新設土間コンクリートの厚みはt=150と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
155	(体育館棟) A-139	便所の新設土間コンクリートの下は、防湿シートのみ必要とし、断熱材は不要と考えてよろしいでしょうか。必要であれば、仕様・厚みをご指示ください。	宜しいです。
156	(体育館棟) A-145	器具庫・事務室の鋼製床組はラワンベニアまで既設のままとし、事務室のOAフロアは既存鋼製床組の上に施工するものと考えてよろしいでしょうか。	OAフロア床組みも新設としてください。
157	(体育館棟) A-138,145	事務室の巾木は、仕上表では撤去・新設ですが、展開図では既設のまま・EP-G塗替となっています。仕上表通り、撤去・新設が正と考えてよろしいでしょうか。	Y2通り新設壁については巾木新設とし、既設壁面の巾木は塗装塗りとします。
158	(体育館棟) 設計書 P.210 A-152	外壁改修・撤去で、鉄骨軸組とりこわし・1.ttが計上されていますが、天井伏図で図示されている鉄骨部材【撤去】が該当範囲と考えてよろしいでしょうか。	鉄骨部材とりこわしについては、A-152(天井伏図)、A-161(屋根伏図、通り軸図)○印の撤去部材となります。
159	(体育館棟) A-139,140 A-148,150	C展開図では新設がスライフ梯子が図示されていませんが、平面図ではY1通側にも梯子が図示されています。平面図を正とし、C展開図もA展開図と同様の納まりになるものと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。

160	(体育館棟) A-172・173	廊下手洗いの改修内容は、特別支援学校校舎の手洗い部分と同様とし、新設する手洗いは昇降式と考えてよろしいでしょうか。	昇降式ではありません。別途、機械設備工事としてください。
161	(体育館棟) A-171	仮設駐車場の駐車区画ラインは、ロープ引きを見込むものと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
162	(体育館棟) A-171 設計書 P.210	原山小学校仮校舎の外構工事は、配置図で確認出来るものが全てと考えてよろしいでしょうか。	A171～A173図のとおりです。
163	(体育館棟) A-185	車寄せカーポートは、原山小学校仮校舎側の工事と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
164	(原山小学校仮校舎) A-176	南側便所で、多目的トイレ廻りの壁に「LGS100の上、耐水プラスターボードt12.5+化粧ケイカル板t6.0」とありますが、LGSは既設のまま残し、ボードのみ貼替えるものと考えてよろしいでしょうか。	既設LGS利用できれば、ボード張替えのみとしてください。
165	(原山小学校仮校舎) A-174	北側便所・新設掃除具入の仕様・程度をご指示ください。	A-104 K-15 掃除用具入れ同様としてください。
166	(原山小学校仮校舎) A-181	昇降口・西側沓拭マット部のモルタル金コテt50で、表面仕上げが必要であれば仕上げ材の仕様・程度をご指示ください。	車椅子利用における、段差解消目的のため沓拭き仕上げ材は不要とします。
167	(仮設及び協議事項)	仮設電気料金及び水道料金は、メーター読みして本工事に計上しますが、1次側は近接の既設場内から引き込んでよろしいでしょうか。	宜しいです。
168	(仮設及び協議事項)	支援学校及び原山小学校共、工事に支障となる場内・構内にある物品や汁器の撤去又は仮移動は別途と考えてよろしいでしょうか。(厨房機器含む)	厨房機器は、別途、機械設備工事としてください。なお、残置物については設計書のとおり本工事に含まれます。
169	(仮設及び協議事項)	設計図書に記載ある家具の仮移動先は場内・構内にあると考えてよろしいでしょうか。	別途協議によります。
170	(仮設及び協議事項)	設計書にある校舎棟の外灯は別途と考えてよろしいでしょうか。	電気設備工事と重複のため、別途電気設備工事としてください。
171	(仮設及び協議事項)	原山小学校改修期間、原山小学校構内に現場事務所を設置するスペースがあると考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
172	(仮設及び協議事項)	ホルムアルデヒド等、環境測定は別途と考えてよろしいでしょうか。もしある場合、測定場所をご指示下さい。	新設または改修する居室を対象とし、測定箇所は別途協議によります。

173	(仮設及び協議事項)	竣工写真は別途と考えてよろしいでしょうか。もしある場合、カット数をご指示下さい。	提出書類一覧表のとおりです。原則、工事箇所すべてが必要です。
174	(仮設及び協議事項)	中東情勢により、材料の入荷停止及び価格上昇の懸念が有ります。その都度、価格及び工期の協議をお願いします。	別途協議によります。
175	発注者からの追加事項		スロープ棟 消火器埋込BOX ユニオン UF-1F-2204-PWH+消火器 9か所追加 スロープ棟倉庫内、消火器 2か所追加としてください。
176	発注者からの追加事項		スロープ棟 外部雨水桝、雨水配管追加としてください。 別紙、図面AS-13に追記しましたのでご参照ください。

質問事項は原文のままです。なお、設計変更に関しても瀬戸市工事施行規則が適用されます。  
本回答について、変更協議の対象とします。入札については、設計書のとおり積算してください。



附近見取図 1/3000 工事場所：愛知県瀬戸市萩山台2丁目2番地

(凡例)  
 ■ 増築建物を示す。(スロープ棟・給食室棟)

▨ ゴムチップ舗装A 578.5m<sup>2</sup>  
 既設コンクリート下地及び既設路盤補修の上 下層再生777密粒 t50 表層材t=15

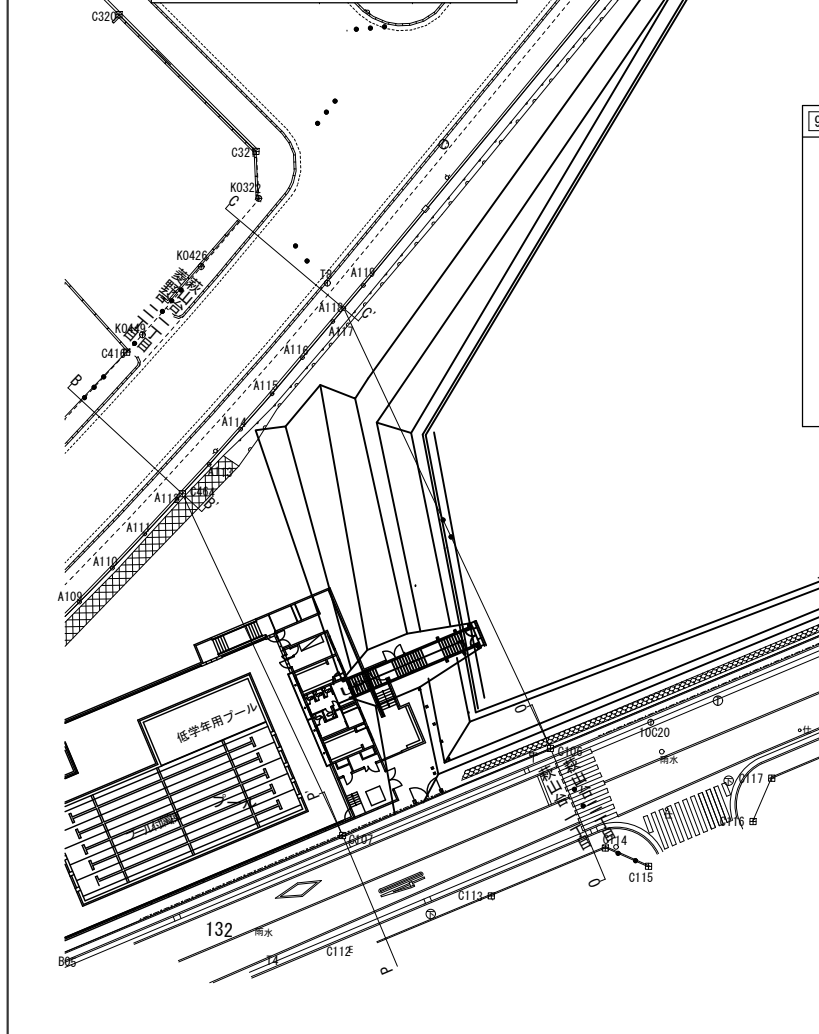
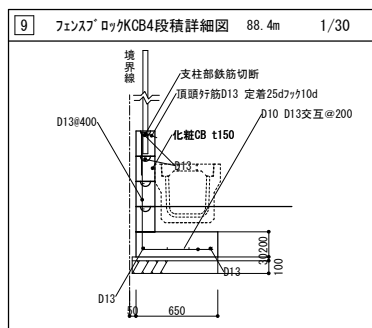
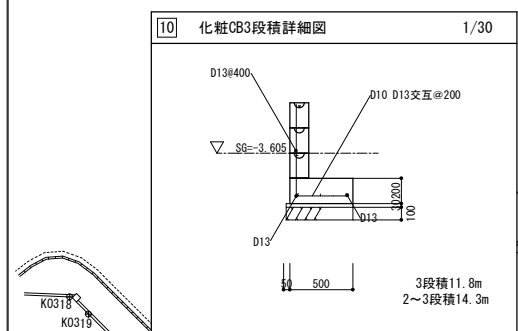
▨ ゴムチップ舗装B 326.6m<sup>2</sup>  
 路盤RC40 t=200 下層再生777密粒t=35 表層材t=15  
 777密粒 : 777製H50

▨ 77B(1)  
 A-5-20 既設路盤補修  
 密粒再生アスファルト舗装 813.3m<sup>2</sup>

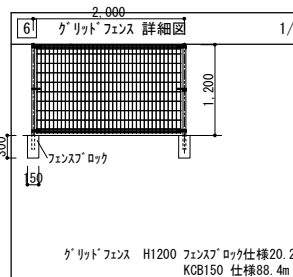
▨ 77B(2)  
 A-5-20 路盤RC40  
 密粒再生アスファルト舗装 東502.3m<sup>2</sup> 西 1,907.5m<sup>2</sup>

■ 900×150 タイル (ニッパイト777ニュー同等品) 61.7m<sup>2</sup>

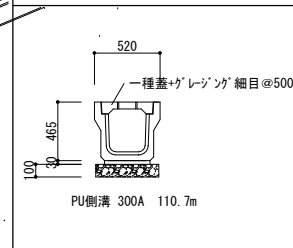
■ 視覚障害者認知用300角タイル張り9.72m<sup>2</sup>



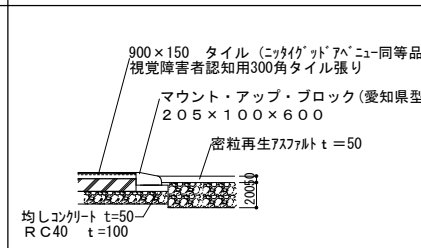
配置図 (改修後) 1/400



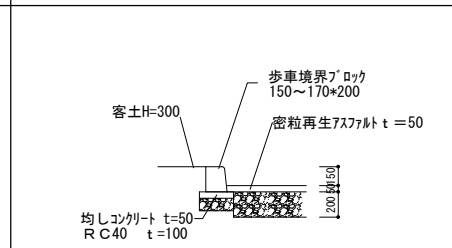
2 PU側溝 300A 詳細図 1/30



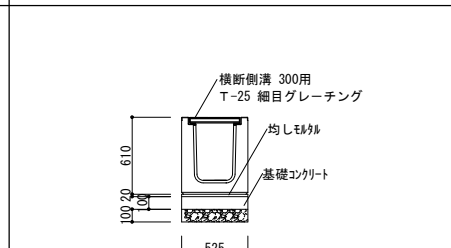
3 タイル貼部 詳細図 1/30



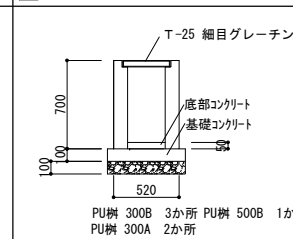
4 花壇 詳細図 1/30



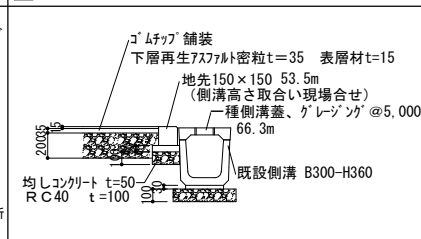
5 横断側溝詳細図 1/30



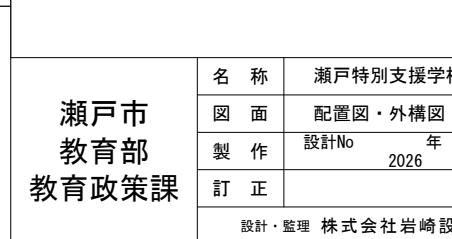
6 グリッドフェンス 詳細図 1/50



7 PU樹 300B 詳細図 1/30

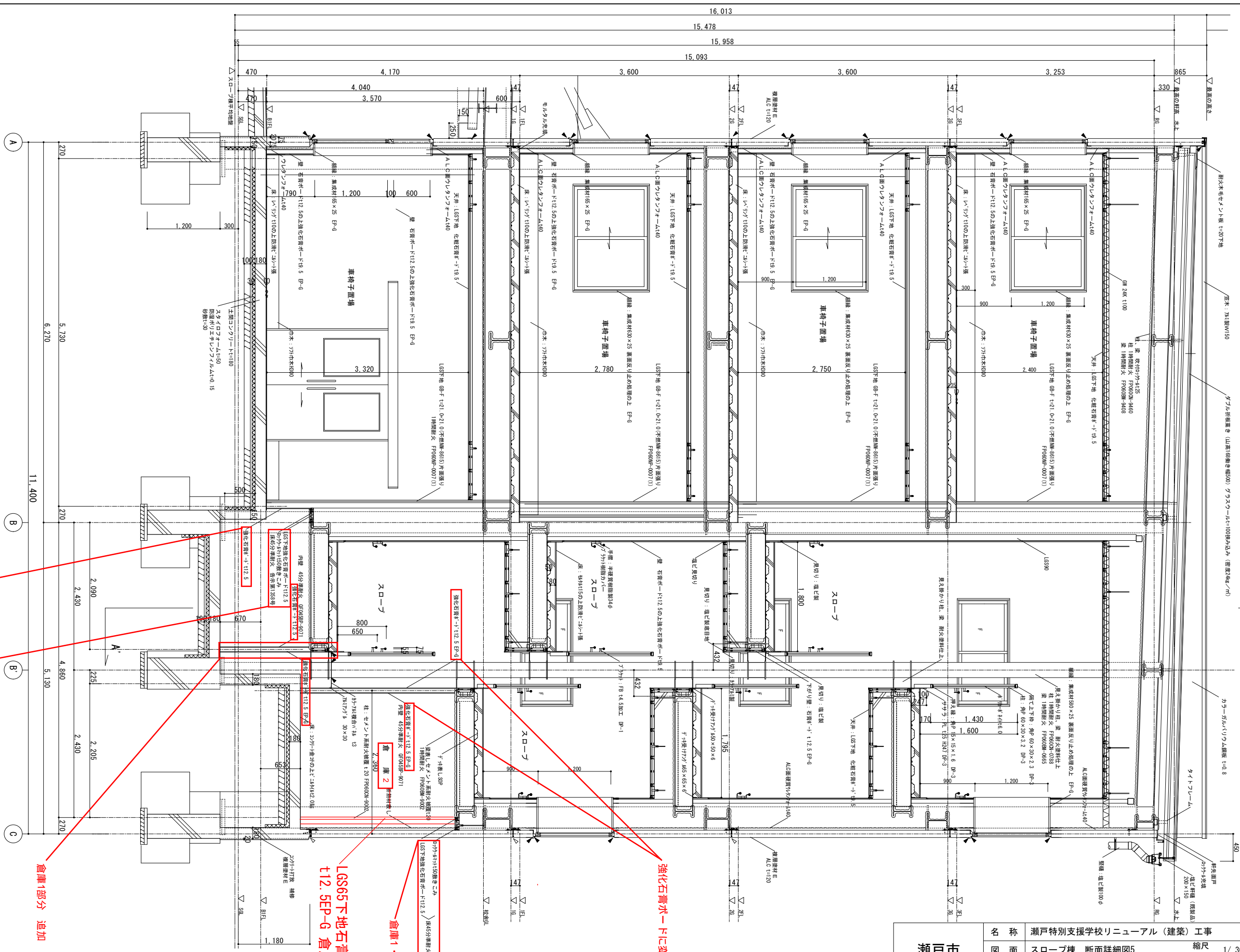


8 地先777150×150 側溝蓋 詳細図 1/30



抗記号	抗種
□	コンクリート杭
⊠	プラスチック杭
⊕	金属杭
△	金属プレート
+	刻み
○	計算点
◎	現況観測点
⊙	多角点
—	境界確定予定線
---	境界推定線

<b>瀬戸市          教育部          教育政策課</b>	名称	瀬戸特別支援学校リニューアル(建築)工事	図面No	AS-13
	図面	配置図・外構図(改修後) 縮尺 1/400 1/30		
	製作	設計No 年 月 日 担当		
訂正	2026 2 年 月 日			
設計・監理 株式会社岩崎設計事務所 1級建築士登録第340519号 岩崎英一郎				



△スロープ：MS-2を添す  
▽スロープ：PU-2を添す

断面詳細図5 1/30 B-B' 断面

倉庫1・2 追加

倉庫1部分 追加

倉庫1・2 追加

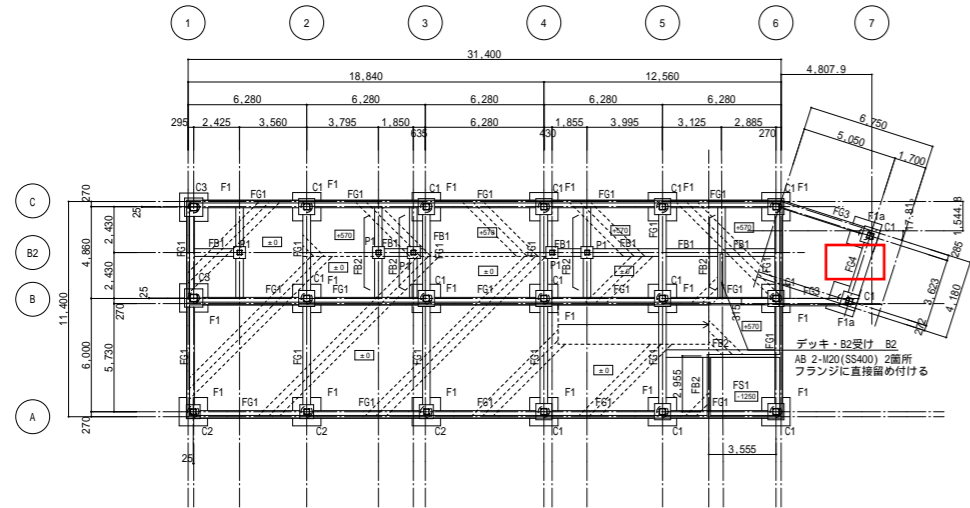
LGS65下地石膏ボード  
t12.5EP-G 倉庫2追加

強化石膏ボードに変更

- 倉庫1 南側壁内側に強化石膏ボードt12.5追加
- 倉庫1 間仕切 強化石膏ボードt12.5両面貼り追加
- 倉庫2 間仕切 強化石膏ボードt12.5両面貼りに変更

名称	瀬戸特別支援学校リニューアル（建築）工事			縮尺	1/30	図面No	AS-22
図面	スロープ棟 断面詳細図5			年	2026	月	2
製作	設計No	年	月	日	担当		
訂正	2026	2	年	月	日		
設計・監理 株式会社岩崎設計事務所 1級建築士登録第340519号 岩崎英一郎							



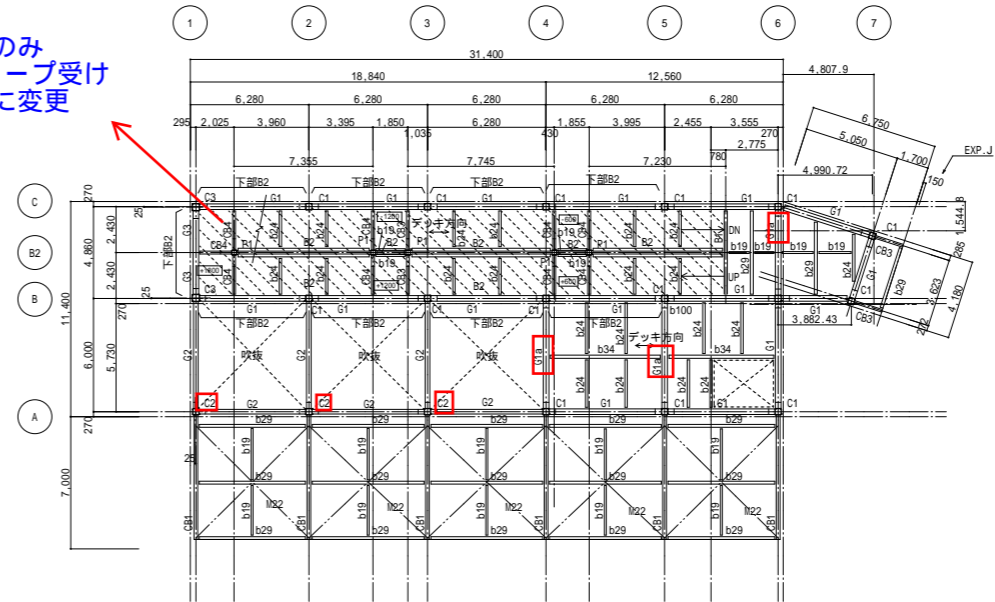


B1階伏図 : 1/200

・特記なき基礎梁天端は B1GL-300とする。

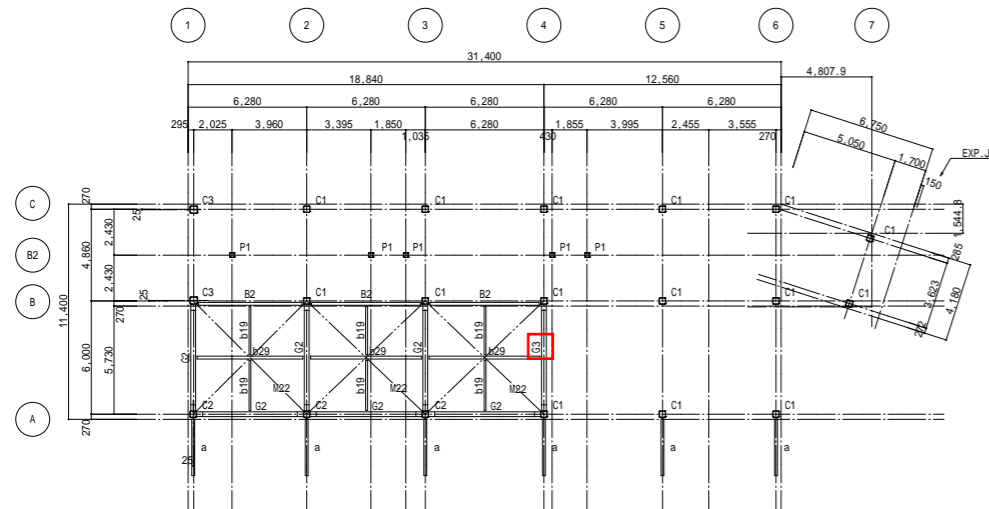
土間範囲を示す。

1階のみ  
スロープ受け  
CB4に変更

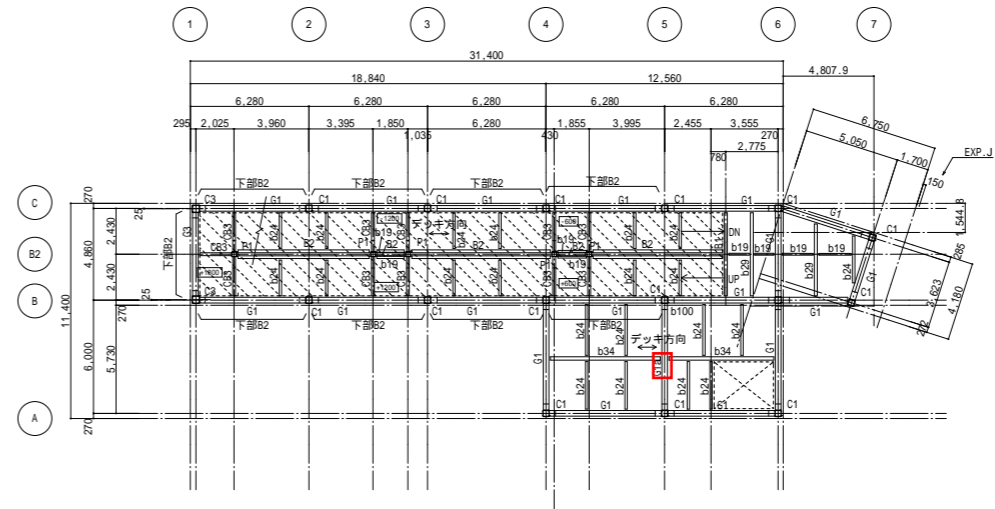


1階伏図 : 1/200

斜路を示す。斜路部レベルは軸組図参照



M2階伏図 : 1/200

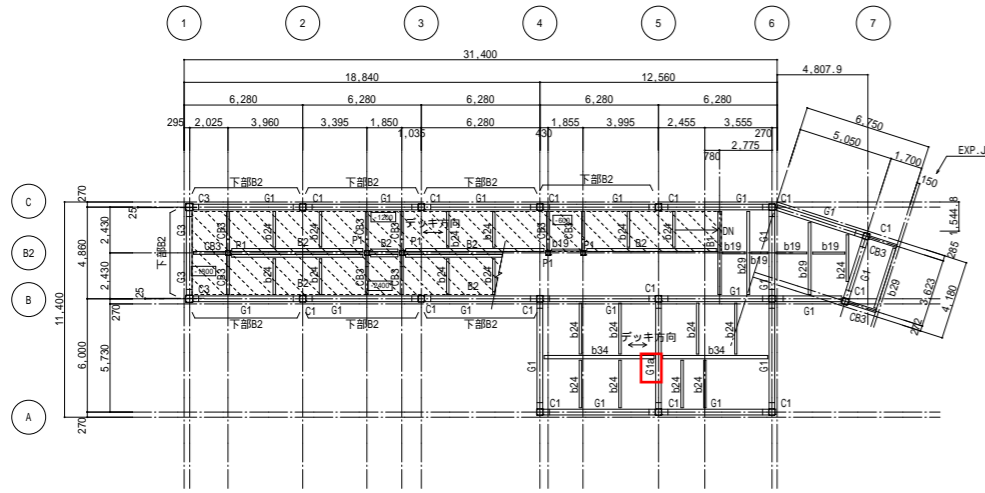


2階伏図 : 1/200

斜路を示す。斜路部レベルは軸組図参照

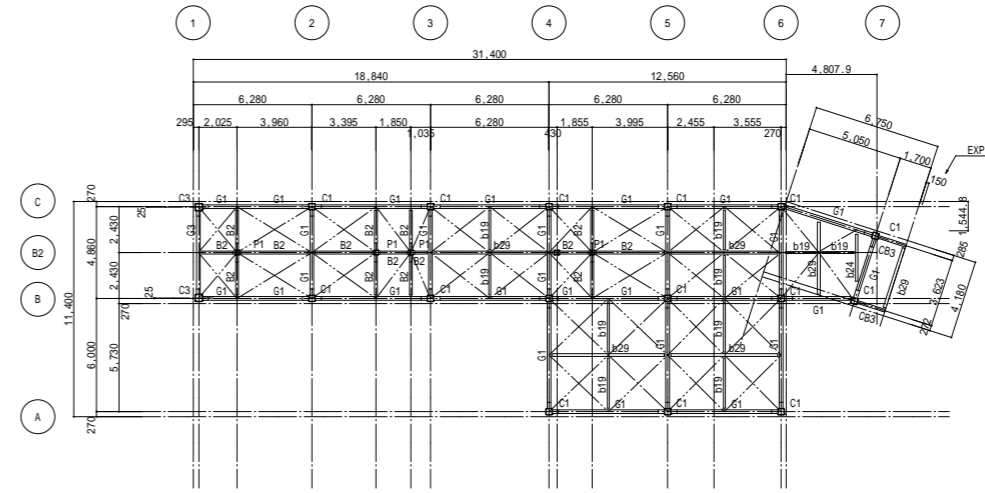
- (共通事項)  
 1. 引付=取付欄Q-3.570  
 2. 特記なき 大梁・片持ち梁の継ぎ手位置は柱芯から600とする。  
 3. □内数値はFLからの床仕上げ天端を示す。

<b>瀬戸市 教育部 教育政策課</b>	名称	瀬戸特別支援学校リニューアル(建築)工事	図面No
	図面	基礎伏図、1階・M2階・2階伏図	S - 9
	製作	設計No 年 月 日 担当	縮尺 S=1/200(A1) S=1/400(A3)
	訂正	2026 2 年 月 日	
設計・監理 株式会社岩崎設計事務所 一級建築士登録第340519号 岩崎英一郎			



3階伏図 : 1/200

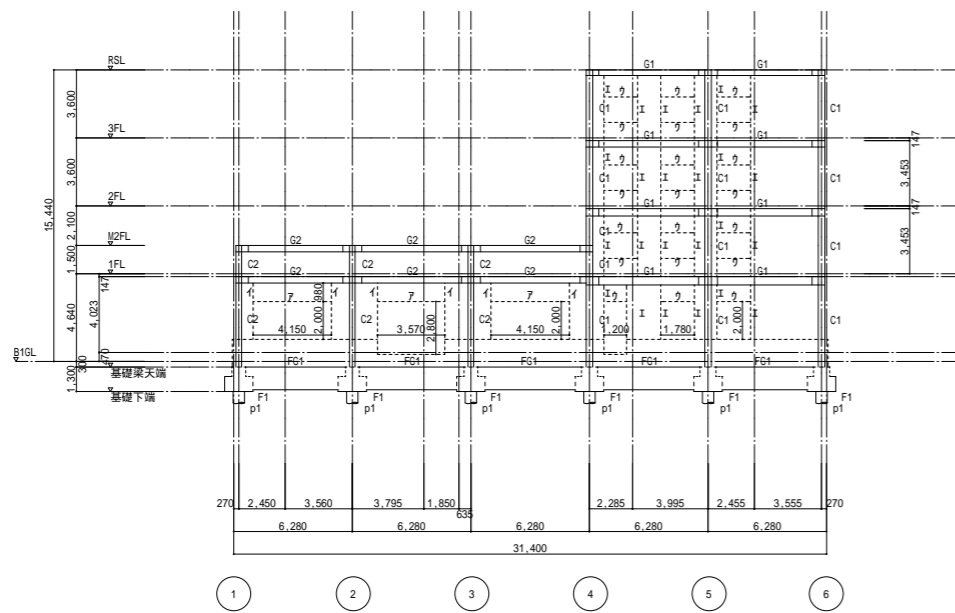
斜路を示す。斜路部レベルは軸組図参照



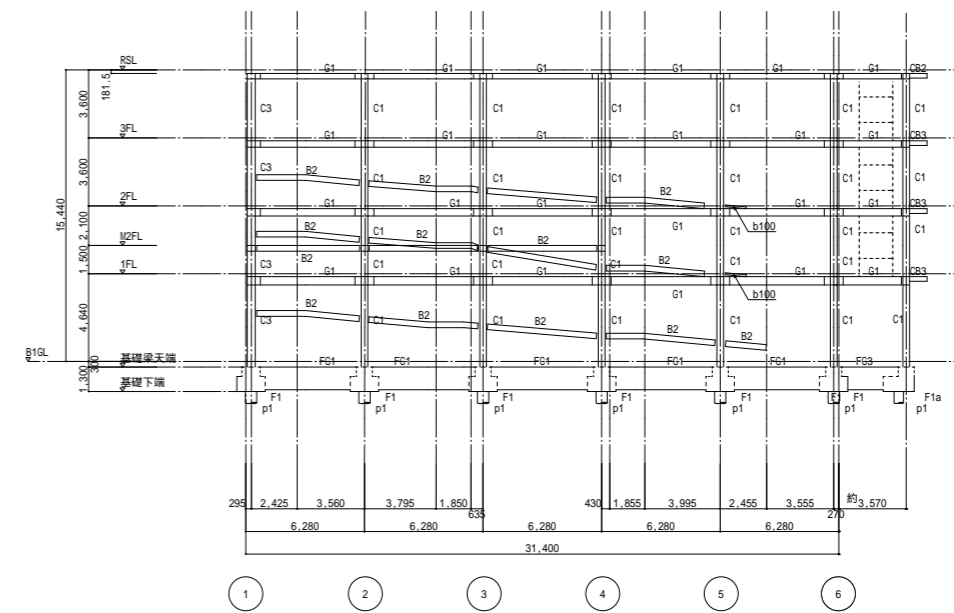
R階伏図 : 1/200

・屋根ブレースはFB-75x9とする。

<b>瀬戸市 教育部 教育政策課</b>	名称	瀬戸特別支援学校リニューアル(建築)工事	図面No
	図面	3階伏図・R階伏図	S-10
	製作	設計No 2026年2月 日 担当	縮尺 S=1/200(A1) S=1/400(A3)
	訂正	2026年 月 日	
設計・監理 株式会社岩崎設計事務所 1級建築士登録第340519号 岩崎英一郎			



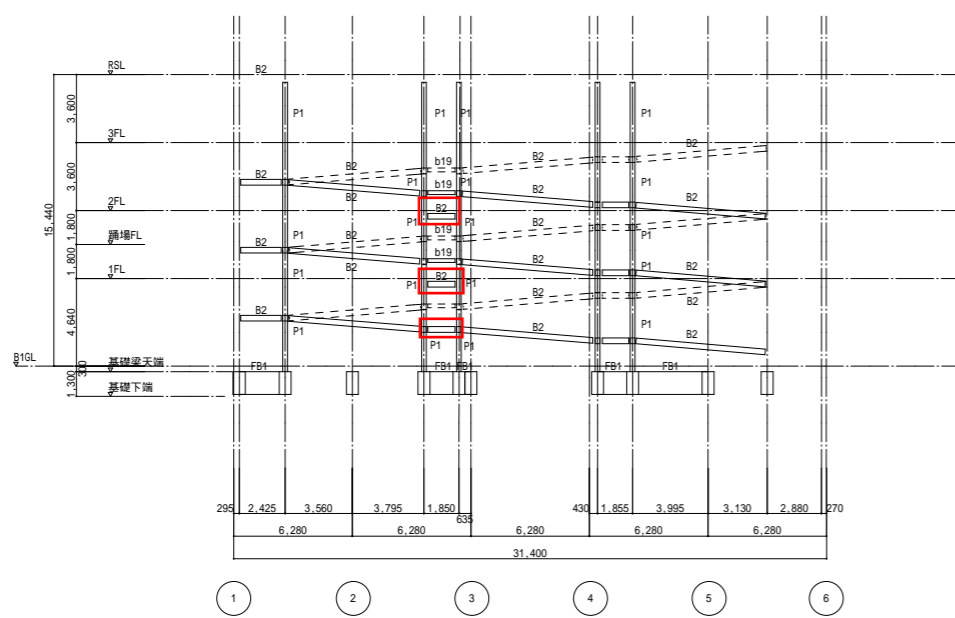
A通軸組図 : 1/200



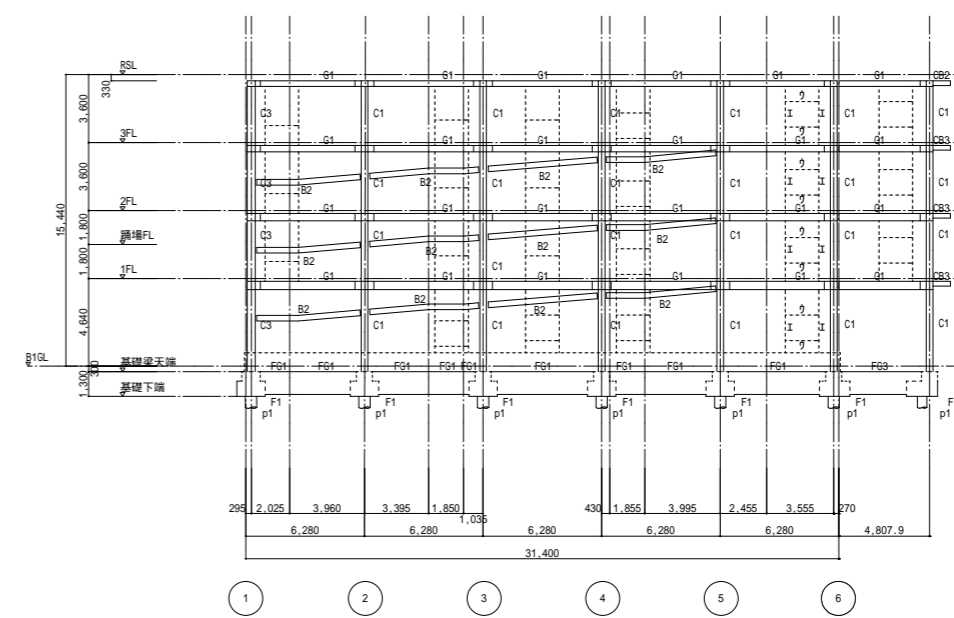
B通軸組図 : 1/200

B2 (M2F)とB2 (斜路)の重複部 並列とする。

開口補強材	
7	-100x100x4.5
4	-100x100x4.5
9	L-75x75x6
I	L-75x75x6



B2通軸組図 : 1/200

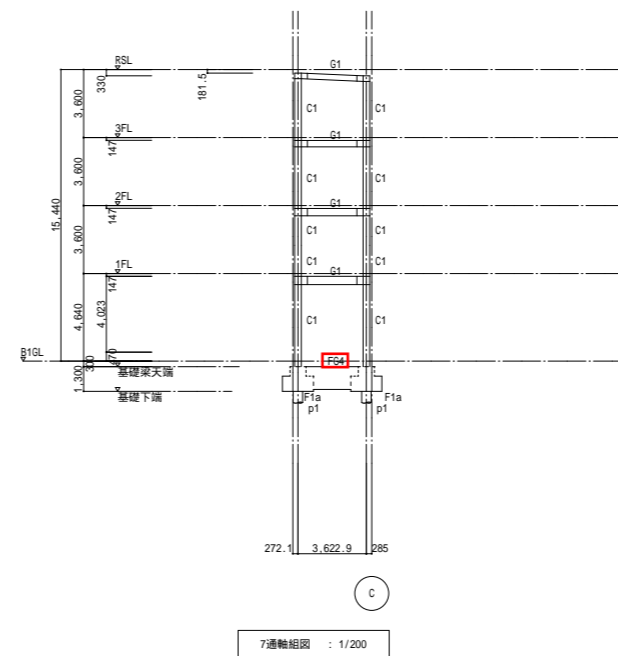
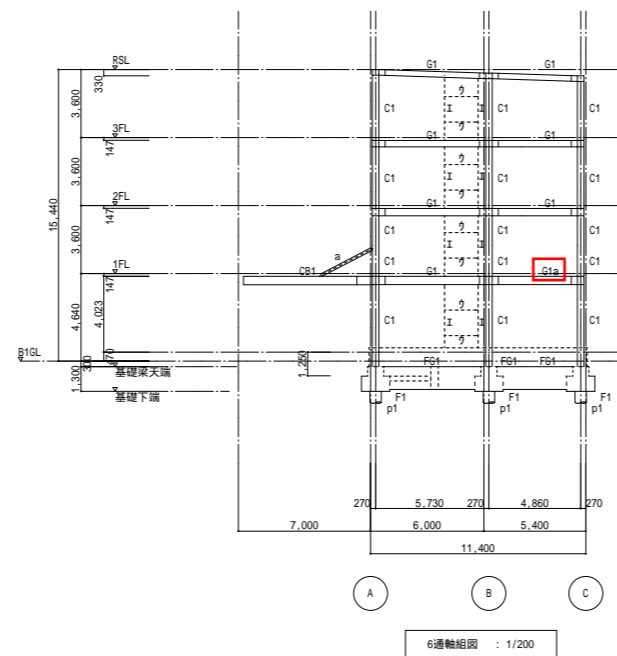
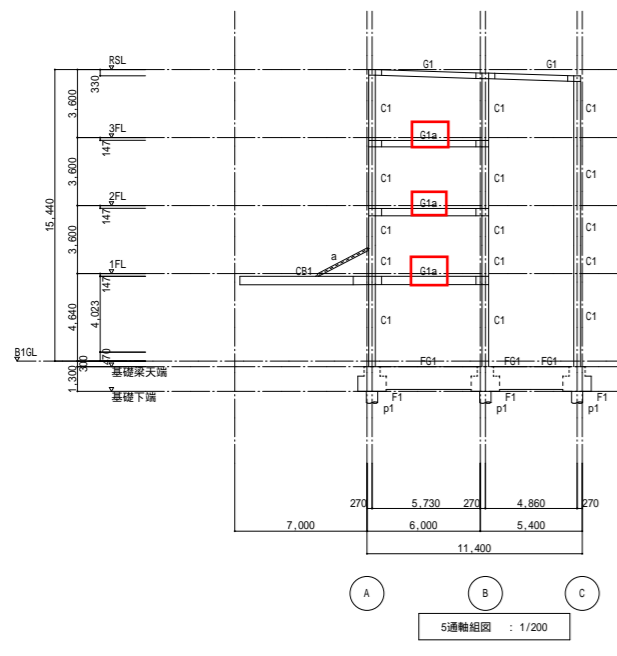
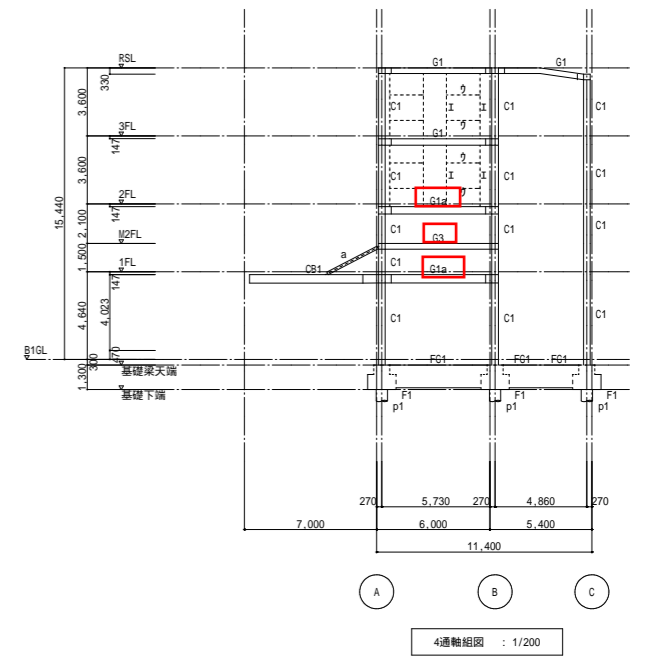
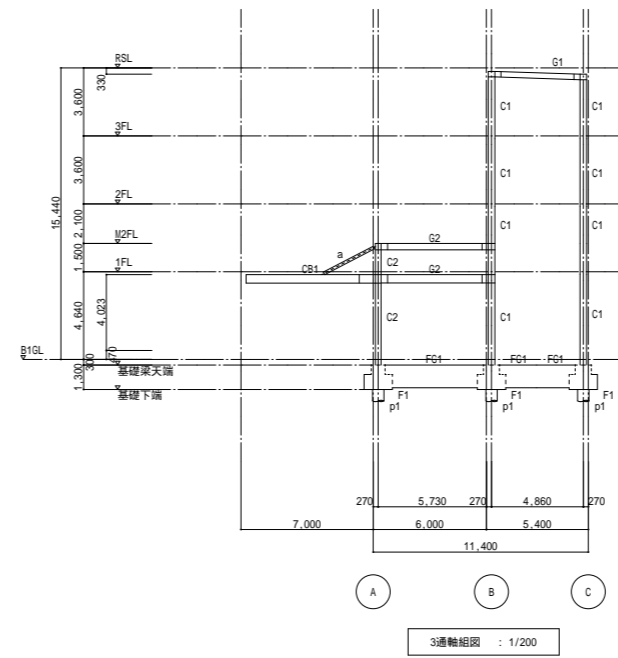
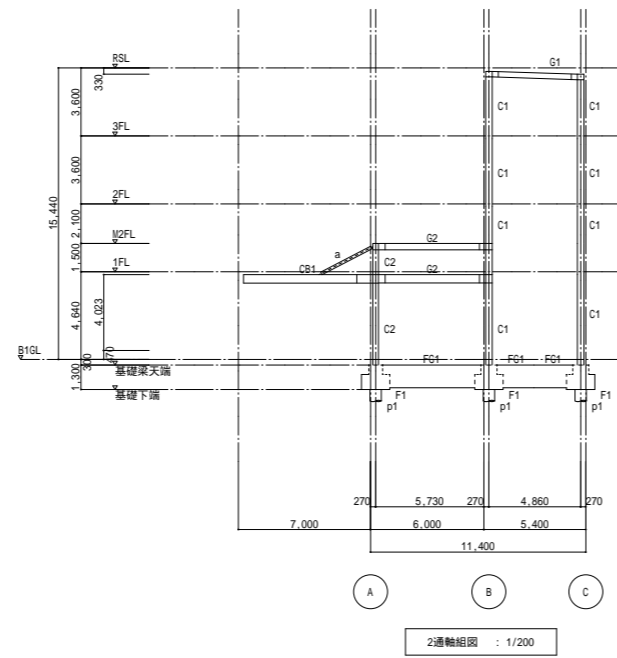
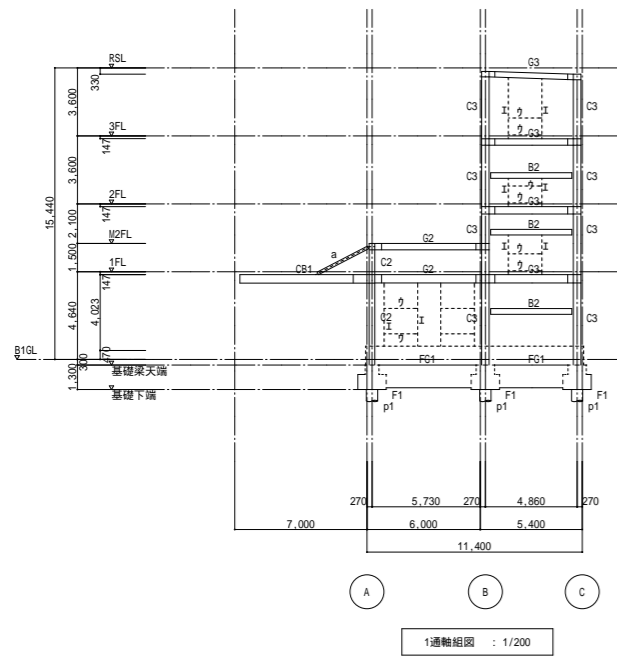


C通軸組図 : 1/200

3G1, 4G1とB2 (斜路)の重複部 B1片刃カット  
2G1とB2 (斜路)の重複部 B1は2G1に接合

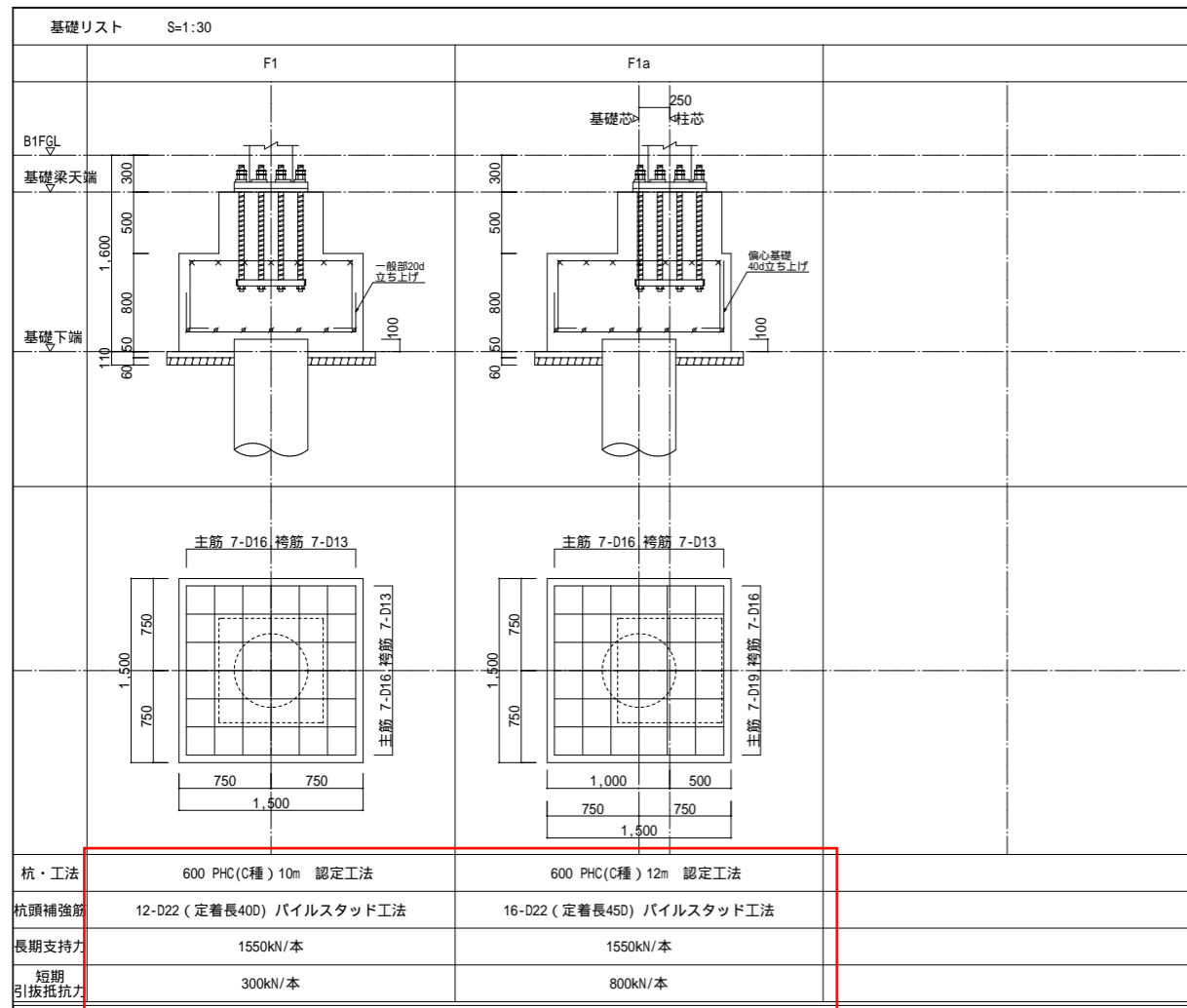
(共通事項)  
1. B1FL=取寄機軸L-3.570  
2. 特記なき 大衆・片持ち梁の継ぎ手位置は柱芯から600とする。

<b>瀬戸市 教育部 教育政策課</b>	名称	瀬戸特別支援学校リニューアル (建築) 工事		図面No	S - 1 1
	図面	A通 ~ C通軸組図	縮尺 S=1/200(A1) S=1/400(A3)		
	製作	設計No	年 月 日 担当		
	訂正	2026	2 年 月 日		
設計・監理 株式会社岩崎設計事務所 一級建築士登録第340519号 岩崎英一郎					

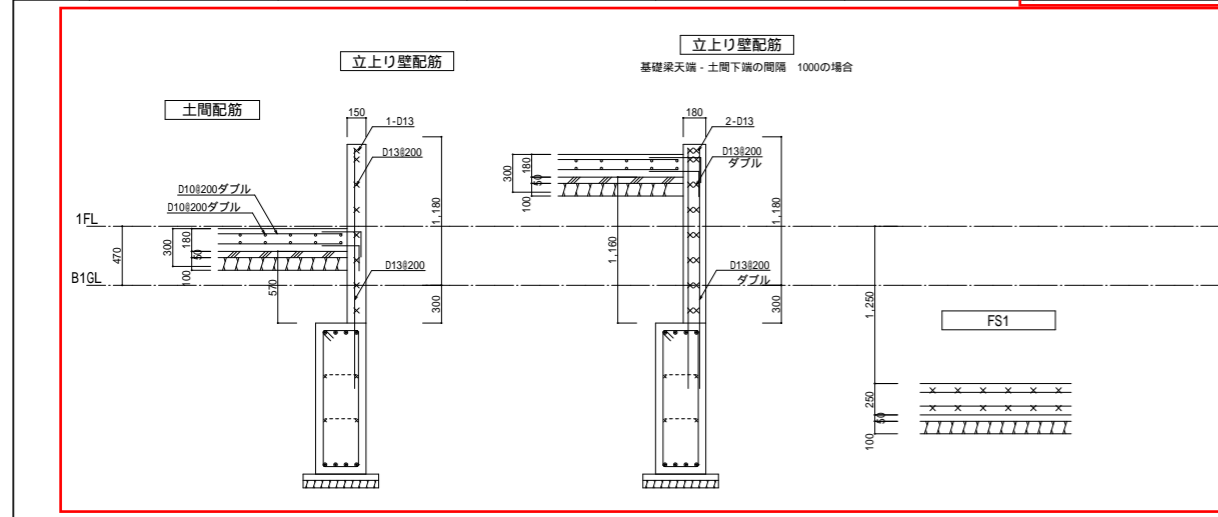


瀬戸市  
教育部  
教育政策課

名称	瀬戸特別支援学校リニューアル(建築)工事		図面No
図面	1通~8通軸組図	縮尺 S=1/200(A1) S=1/400(A3)	S - 1 2
製作	設計No	年 月 日 担当	
訂正	2026	2 年 月 日	
設計・監理 株式会社岩崎設計事務所 1級建築士登録第340519号 岩崎英一郎			



項目	F1	F1a
杭・工法	600 PHC(C種) 10m 認定工法	600 PHC(C種) 12m 認定工法
杭頭補強筋	12-D22 (定着長400) バイルスタッド工法	16-D22 (定着長450) バイルスタッド工法
長期支持力	1550kN/本	1550kN/本
短期引抜抵抗力	300kN/本	800kN/本



# ボーリング柱状図

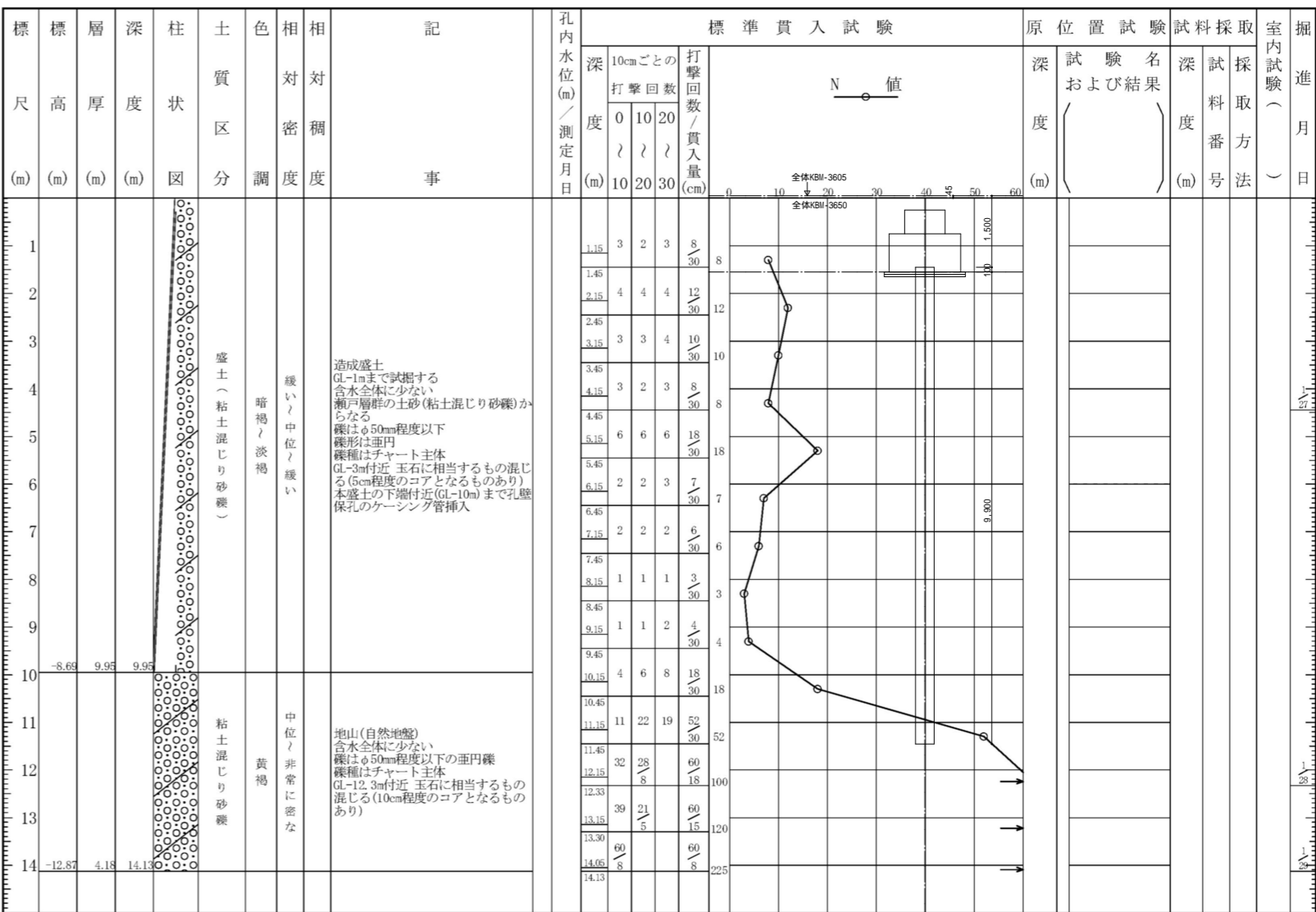
調査名 瀬戸特別支援学校リニューアル工事設計業務委託地質調査

事業・工事名

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	調査位置	愛知県瀬戸市萩山台地内		北緯	35° 12' 45.89"
発注機関	瀬戸市	調査期間	令和 7年 1月 27日 ~ 7年 1月 29日	東経	137° 5' 53.58"
調査業者名	株式会社 江土地質 電話 (052-882-1295)	主任技師	高橋 俊春	現代場代理人	野田 真由 コア鑑定者 山本 忠彦
孔口標高	KBM +1.26m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南
総掘進長	14.13m	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	YBM05DA-2
		エンジン	YANMAR NFAD-8	ハンマー落下用具	半自動落下装置
				ポンプ	KANO V-6



杭認定工法は 支持力及び引抜き耐力が確保できる工法とすること。  
以下に例を示す。  
杭先端支持力係数 =340

名称	瀬戸特別支援学校リニューアル(建築)工事		図面No	S-13
図面	基礎リスト・基礎梁リスト		縮尺	S=1/30(A1) S=1/60(A3)
製作	設計No	年 月 日 担当		
訂正	2026	2 年 月 日		
設計・監理 株式会社岩崎設計事務所 1級建築士登録第340519号 岩崎英一郎				

柱・柱脚・基礎柱リスト S=1/30				
注) 特記無き材質は SS400とする。 -150以上の角形鋼管は8CR295とする。				
符号	C1	C2	C3	P1
3階	-350x350x19		-400x400x25	-250x250x12
2階	-350x350x22		-400x400x25	-250x250x12
1階	-350x350x22	-300x300x16	-400x400x25	-250x250x12
B1階	-350x350x22	-300x300x16	-400x400x25	-250x250x12
柱脚				
BPL	ベースバック 35-22F3	ベースバック 30-16F2	ベースバック 40-25F3	ベースバック 25-12F2
Rib.PL				
A.B.				
基礎柱				
主筋	20-D25(SD345)	20-D25(SD345)	24-D25(SD345)	12-D22(SD345)
HOOP	-D16@100	-D13@100	-D16@100	-D13@100

大梁リスト S=1/30				
注) 特記無き材質は SS400とする。				
符号		G1a	G2	G3
R階	H-294x200x8x12			H-294x200x8x12(SN490B)
3階	H-340x250x9x14	H-340x300x9x14 (SN490B)		H-390x300x10x16 (SN490B)
2階	H-390x300x10x16	H-390x300x10x16 (SN490B)	H-340x250x9x14	H-440x300x11x18 (SN490B)
1階	H-440x300x11x18	H-440x300x11x18 (SN490B)	H-340x250x9x14	H-488x300x11x18 (SN490B)

鉄骨部材断面表				
符号	部材	接合部		備考
		フランジ	ウェブ	
B1	H - 350 x 175 x 7 x 11		GPL - 9 HTB 4 - M20	
B2	H - 300 x 150 x 6.5 x 9		GPL - 9 HTB 3 - M16	
CB1	H - 450 x 200 x 9 x 14			溶接接合
CB2	H - 250 x 125 x 6 x 9			溶接接合
CB3	H - 300 x 150 x 6.5 x 9			溶接接合
CB4	H - 350 x 175 x 7 x 11			溶接接合
b34	H - 346 x 174 x 6 x 9		GPL - 9 HTB 4 - M20	大梁接合部はS-15参照
b29	H - 298 x 149 x 5.5 x 8		GPL - 9 HTB 3 - M16	大梁接合部はS-15参照
b24	H - 248 x 124 x 5 x 8		GPL - 9 HTB 2 - M16	大梁接合部はS-15参照
b19	H - 198 x 99 x 4.5 x 7		GPL - 6 HTB 2 - M16	大梁接合部はS-15参照
b100	H - 100 x 100 x 6 x 8		GPL - 6 HTB 2 - M16	
a	- 165.2 x 6		GPL - 9 HTB(F8T)6-M20	GPL および 端部PLには リブPL-9x100を取り付ける
ブレース	M22 JISターンバックルブレース		PL - 12 HTB 1 - M22	
ブレース	FB-75x9		PL - 9 HTB 3 - M16	
折板	H=130 t=0.6			
斜路用ササラ	PL - 12 x 250		GPL - 9 HTB 2 - M16	
床	EZ50 t=1.2 山上コンクリート180			配筋 6@150溶接金網

開口補強材		
フ	-100x100x4.5	GPL-6,2-M16
イ	-100x100x4.5	GPL-6,2-M16
ウ	L-75x75x6	GPL-6,1-M16
エ	L-75x75x6	GPL-6,1-M16

SS400 梁継手表

GGF-4X-J2512・0609-16	H-250x125x6x9x8	GGF-4X-J3015・0609-20	H-300x150x6.5x9x13	GGF-4X-J3020・0912-20	H-294x200x8x12x13	GGF-4X-J3525・0916-20	H-340x250x9x14x13	GGF-4X-J4030・0916-20	H-390x300x10x16x13	GGF-4X-J4520・0916-20	H-450x200x9x14x13	GGF-4X-J4530・1219-20	H-440x300x11x18x13
フランジ	24-M16:L=45 2P- 12x125x410	フランジ	16-M20:L=55 2P- 9x150x290 4P- 9x 60x290	フランジ	24-M20:L=60 2P- 9x200x410 4P- 9x 80x410	フランジ	32-M20:L=70 2P- 12x250x530 4P- 12x100x530	フランジ	32-M20:L=70 2P- 12x300x440 4P- 12x110x440	フランジ	24-M20:L=70 2P- 12x200x410 4P- 12x 80x410	フランジ	32-M20:L=70 2P- 12x300x440 4P- 12x110x440
ウェブ	8-M16:L=45 2P- 6x170x290	ウェブ	4-M20:L=50 2P- 6x200x170	ウェブ	6-M20:L=55 2P- 9x200x170	ウェブ	12-M20:L=55 2P- 9x200x290	ウェブ	8-M20:L=60 2P- 9x260x170	ウェブ	10-M20:L=55 2P- 9x320x170	ウェブ	10-M20:L=60 2P- 9x320x170

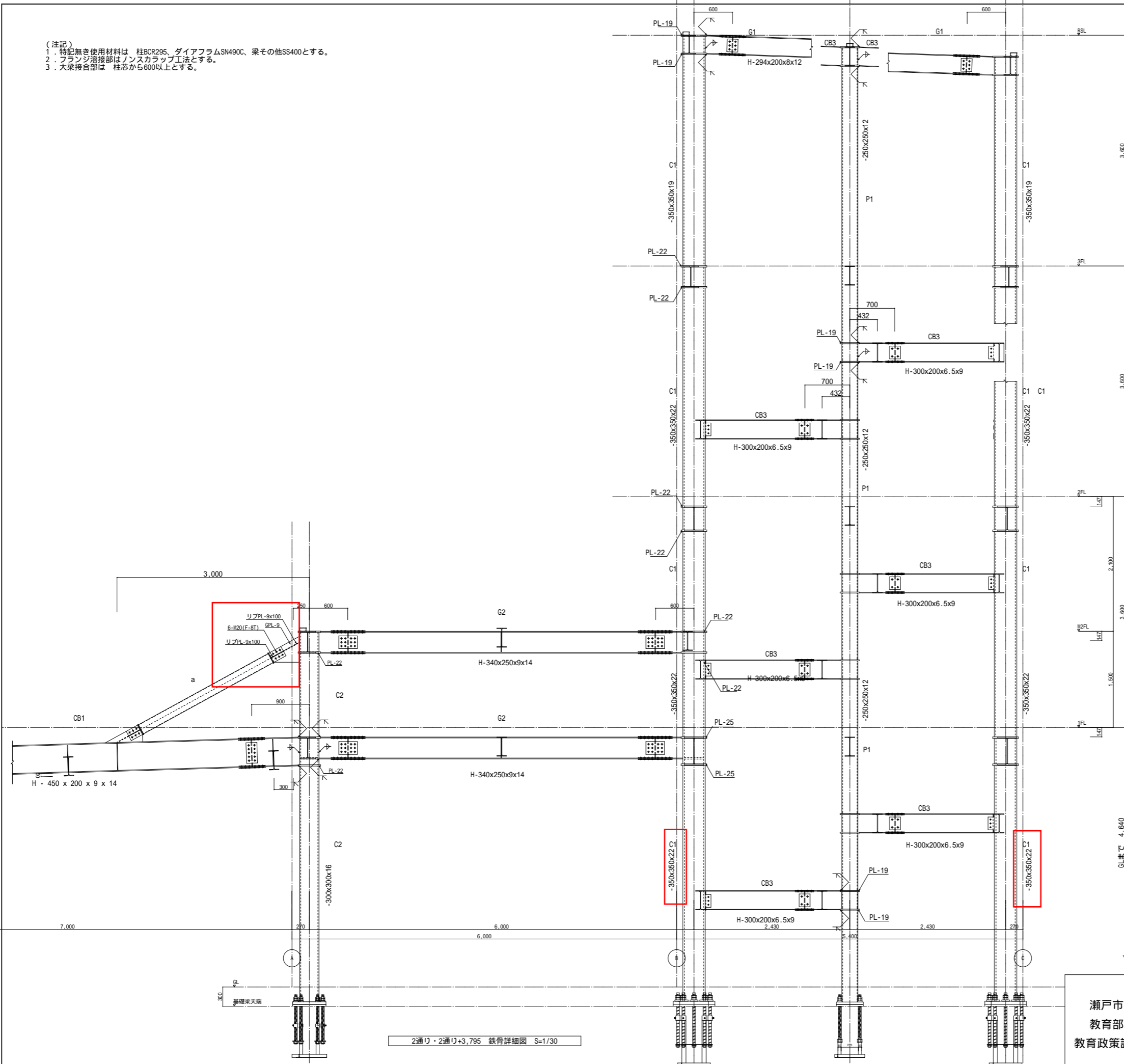
SN490 梁継手表

GGF-5X-J3020・0912-20	H-294x200x8x12x13	GGF-5X-J3525・0916-20	H-340x250x9x14x13	GGF-5X-J4030・0916-20	H-390x300x10x16x13	GGF-5X-J4530・1219-20	H-440x300x11x18x13	GGF-5X-J5030・1219-20	H-488x300x11x18x13		
フランジ	24-M20:L=60 2P- 9x200x410 4P- 9x 80x410	フランジ	40-M20:L=70 2P- 12x250x650 4P- 12x100x650	フランジ	40-M20:L=70 2P- 12x300x530 4P- 12x110x530	フランジ	48-M20:L=70 2P- 12x300x620 4P- 12x110x620	フランジ	48-M20:L=70 2P- 12x300x620 4P- 12x110x620	フランジ	16-M20:L=65 2P- 12x350x290
ウェブ	8-M20:L=50 2P- 6x200x290	ウェブ	12-M20:L=55 2P- 9x200x290	ウェブ	12-M20:L=60 2P- 9x260x290	ウェブ	20-M20:L=60 2P- 9x320x290	ウェブ	16-M20:L=65 2P- 12x350x290		

<b>瀬戸市 教育部 教育政策課</b>	名称	瀬戸特別支援学校リニューアル(建築)工事		図面No	<b>S - 1 4</b>
	図面	鉄骨部材リスト	縮尺 S=1/30(A1) S=1/60(A3)		
	製作	設計No	年 月 日 担当		
	訂正	2026	2 年 月 日		
設計・監理 株式会社 岩崎設計事務所 1級建築士登録第340519号 岩崎英一郎					

構造関係規定に適合する事を確認した者 一級建築士(大臣登録172511号) 構造設計一級建築士(交付番号2291号) 水谷公子

(注記)  
 1. 特記無き使用材料は 柱BCR295、ダイヤフラムSN490C、梁その他SS400とする。  
 2. フランジ溶接部はノンスカラップ工法とする。  
 3. 大梁接合部は 柱芯から600以上とする。



2通り・2通り+3,795 鉄骨詳細図 S=1/30

大梁横補剛材接合部			
特記無き種空き・選空きは40とする。			
大梁	SS400	H-294x200x8x12	小梁 H-248x124x5x8
大梁	SS400	H-340x250x9x14	小梁 H-248x124x5x8
大梁	SS400	H-390x300x10x16	小梁 H-248x124x5x8
大梁	SS400	H-440x300x11x18	小梁 H-248x124x5x8
大梁	SS400	H-294x200x8x12	小梁 H-198x99x4.5x7
大梁	SS400	H-340x250x9x14	小梁 H-198x99x4.5x7
大梁	SS400	H-390x300x10x16	小梁 H-198x99x4.5x7
大梁	SS400	H-440x300x11x18	小梁 H-198x99x4.5x7
大梁	SS400	H-294x200x8x12	小梁 H-298x149x5.5x8
大梁	SS400		小梁 H-298x149x5.5x8
大梁	SN490	H-340x250x9x14	小梁 H-298x149x5.5x8
大梁	SS400	H-390x300x10x16	小梁 H-298x149x5.5x8
大梁	SN490	H-390x300x10x16	小梁 H-298x149x5.5x8
大梁	SN490	H-482x300x11x15	小梁 H-298x149x5.5x8
大梁	SS400	H-340x250x9x14	小梁 H-346x174x6x9
大梁	SN490	H-340x250x9x14	小梁 H-346x174x6x9
大梁	SS400	H-390x300x10x16	小梁 H-346x174x6x9
大梁	SN490	H-390x300x10x16	小梁 H-346x174x6x9
大梁	SS400	H-440x300x11x18	小梁 H-346x174x6x9
大梁	SN490	H-440x300x11x18	小梁 H-346x174x6x9

構造関係規定に適合する事を確認した者 一級建築士(大臣登録172511号) 構造設計一級建築士(交付番号2291号) 水谷公子

瀬戸市 教育部 教育政策課

名称	瀬戸特別支援学校リニューアル(建築)工事		図面No	S-15
図面	階伏図	縮尺 S=1/30(A1) S=1/60(A3)		
製作	設計No	年 月 日 担当		
訂正		2026 2 年 月 日		
設計・監理 株式会社岩崎設計事務所		1級建築士登録第340519号	岩崎英一郎	

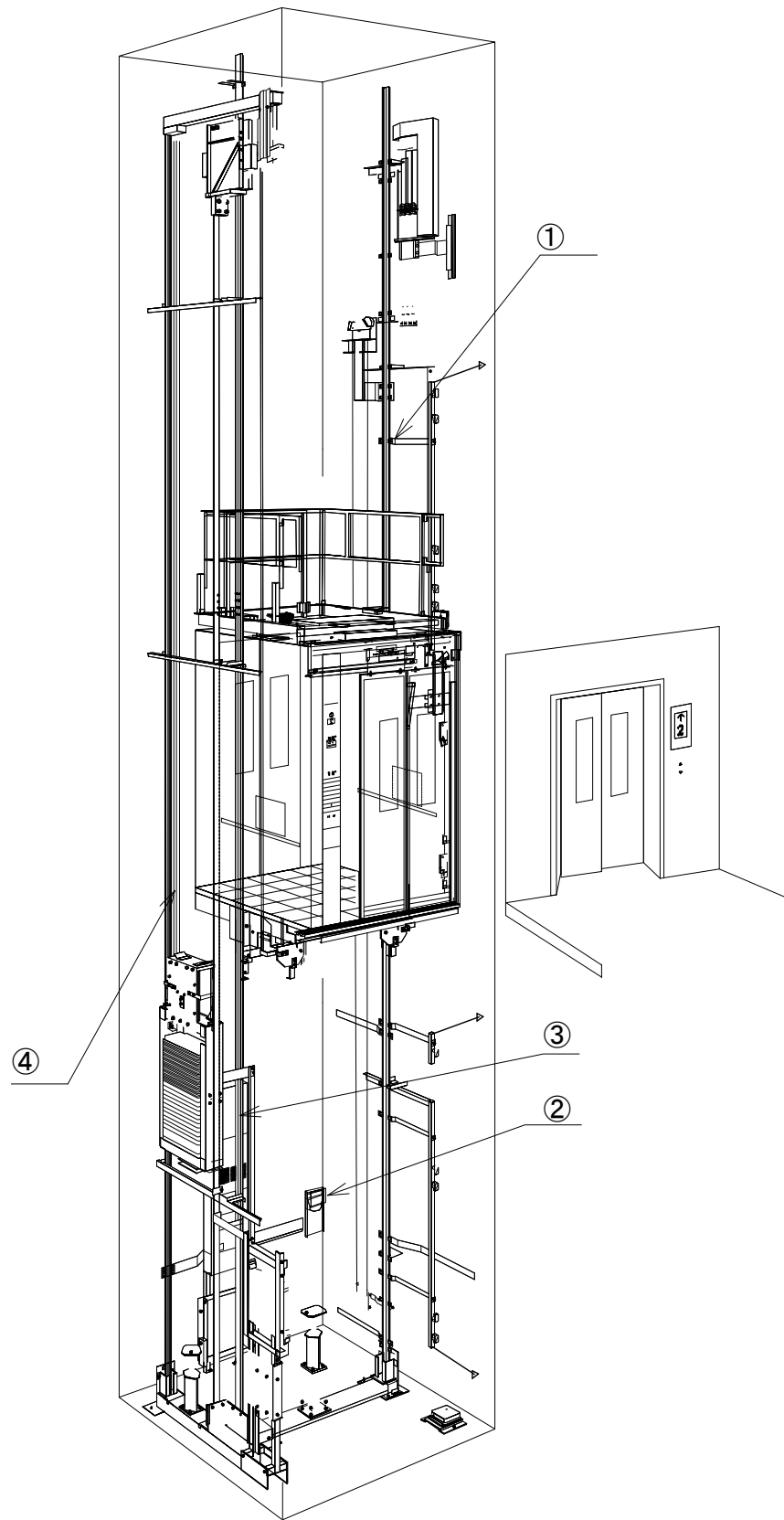
エレベーター仕様変更工事概要図

○工事概要

○エレベーター仕様要項

	既設エレベーター仕様
号機名	01号機
用途	寝台用(車椅子兼用)
制御方式	可変電圧可変周波数制御方式
操作方式	乗合全自動方式
積載質量	1000kg・定員・15名
速度	60m/min
停止箇所	1~3階 計3箇所
動力用電源	AC-3φ 200V 60Hz
巻上機・電動機	PMF011S形
ツナ車・ソラセ車	ツナ車(径)410mm
ロープ(径)	10mmX4本・2:1ローピング
レール	カゴ側 T127-2・オモリ側 T127-2
カゴ内法	間口 1500mmX奥行 2500mm
出入口幅	1200mmX高サ 2100mm
戸形式	電動式二枚戸片開き式
緩衝器	油入式
付加仕様	1.地震時管制運転装置(S・P波) 2.停電時自動着床装置 3.火災時管制運転装置 4.車椅子仕様・視覚障害者仕様 5.98耐震対策 6.戸開走行保護装置(UCMP)

	対策内容	取付	改造	備考
①	オモリ側レールブラケット保護線		○	既存不適格対応工事(耐震対策)
②	地震時管制運転(ガル値変更)		○	
③	カゴ側レールブラケット保護線		○	
④	オモリ側レールタイブラケット追加	○		

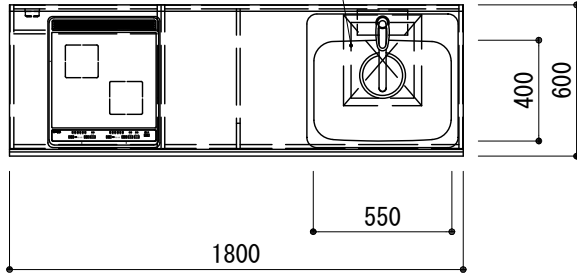


① ● オモリ側レールブラケット保護線	② ● 地震時管制運転(ガル値変更)
③ ● かご側レールブラケット保護線	④ ● オモリ側タイブラケット追加

瀬戸市 教育部 教育政策課	名称	瀬戸市特別支援学校リニューアル(建築)工事			図面No
	図面	エレベーター棟改修工事			縮尺 NONE (A1) NONE (A3)
	製作	設計No	年 月 日	担当	
	訂正	年 月 日			
設計・監理 株式会社岩崎設計事務所 1級建築士登録第340519号 岩崎英一郎					

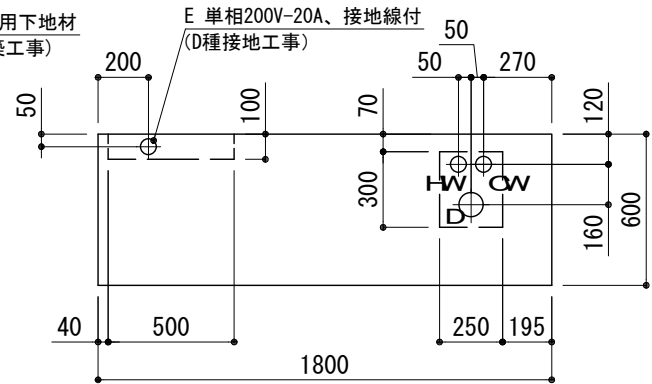
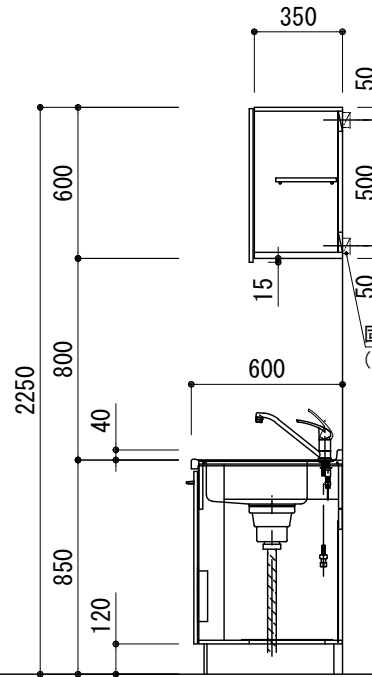
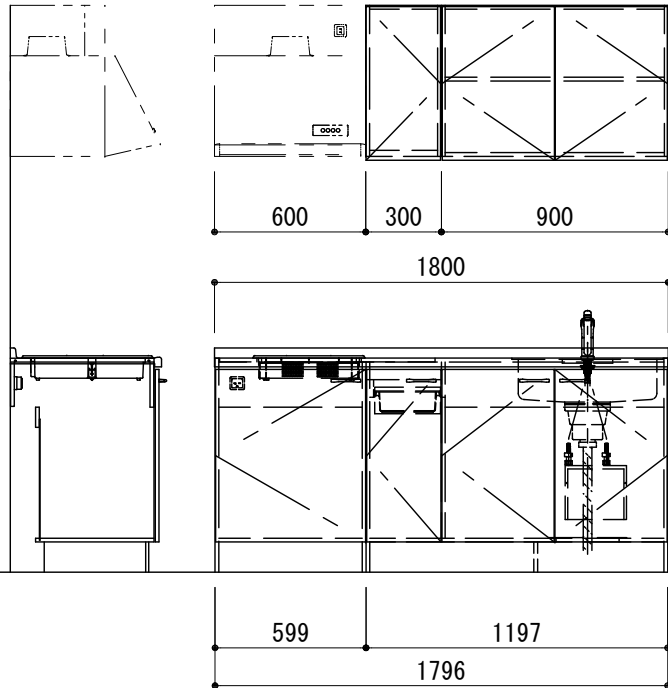
# KH-12. コンパクトキッチン YSC-180DE-R

底板点検口 (W250 × D300)  
上被せ点検蓋付 (W310 × D360)



配管記号一覧			
D	排水	G	ガス
CW	給水	E	電気
HW	給湯		
注記	1. 各配管床上5cm以内プラグ止。 2. 給水、排水、ガス、電気の床上から器具まで接続工事別途。		

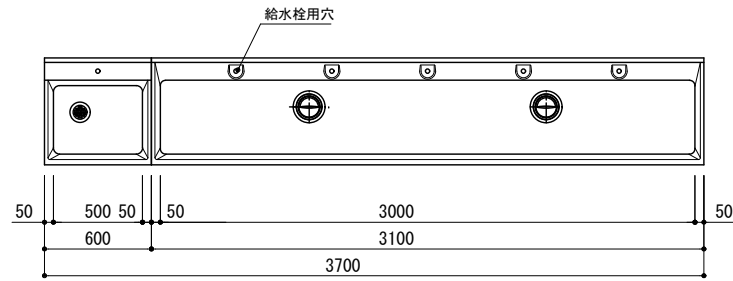
名称	材質・仕様	
ワークトップ	ステンレス製 (銀河エンボス)	
	シンク: 550AS (シゲル工業製)	
	キャビネット	ケコミ: 化粧パチ
	底板: 点検開口有、点検蓋有	
	その他: 低圧メラミンパチ	
	扉	ライト (ポリエステル合板)
	取手	HZ-96
混合水栓	KM5011T (KM製)	
IHヒーター	SIH-E224G-E (三化製) 200V 4000W	
付属品	大型ゴミ収納器付排水ラップ 排水フレキシブルホース、包丁差し シーリングプレート、防臭キャップ	
ウォール	キャビネット	フード側側板: 化粧不燃板
	フード側底板外面: 化粧不燃板	
	背板: カラー合板	
	その他: 低圧メラミンパチ	
扉	ライト (ポリエステル合板)	
取っ手なし 下15mm伸ばし		
レンジフード	別途: 参考品番VAS-60AK	
コンセント	200V 20A (ヒーター用)	



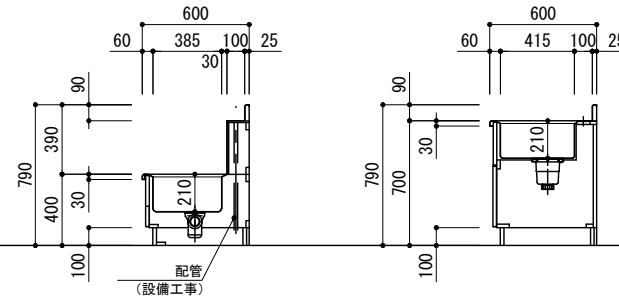
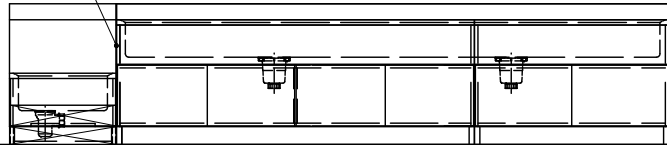
配管立上平面図

(破線内は配管立上有効スペース)

KW-105B. 手洗い流し WD-30L



側板SUS304  
t1.0 貼



名称	材質・仕様
流し	SUS304 t1.0 (正面加工・全周スロープ加工) 大型排水トラップ(ゴミカゴ付) YF-50XSP 横引きトラップ YF-183
本体	t20 両面メラミン化粧パーティクルボード
背板・底板	ポリエステル樹脂板
前板	t20 両面メラミン化粧パーティクルボード 木口: t2 セーフティエッジ (ABS樹脂)
見付	樹脂エッジ (ABS樹脂)
点検蓋	t20 両面メラミン化粧パーティクルボード 木口: t2 セーフティエッジ (ABS樹脂)
台輪	t20 ポリエステル樹脂板 角部: セーフティカバー-27L (ABS樹脂)
給水栓	機械設備工事

